

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集〈繊維とバイオのインターフェース〉



2025 Vol.81 5

一般社団法人 繊維学会



レーザー回折式 粒子径分布測定装置 どんな環境でも安定した測定結果

Litesizer DIF 500

測定範囲 0.01 μ m～3,500 μ m

450nmの青色レーザを搭載

分散ユニットの切り替えはワンタッチで完了

誰でも再現性の高いデータ

第24回

SEKISUI

積水化学

自然に学ぶものづくり 研究助成プログラム

助成総額を、4割増額しました！
若手育成を目的に、若手奨励賞の枠を新設

募集
対象

自然に学んだ基礎サイエンスの知見を活かし、
「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究

※国内の研究機関所属の研究者ならどなたでも応募可能

助成金額 総額3,600万円

自然に学ぶものづくり本賞 1件あたり最大300万円

※過去に当助成を受けた研究（ステップアップ）も応募が可能です

若手奨励賞 1件あたり100万円程度

※45歳未満を目標

※ポストドク含む、これから研究者の道を歩む方、新たに研究室を立ち上げる方等

助成研究期間 2025年10月～2026年9月

募集期間 2025年5月7日（水）より6月30日（月）

結果通知 2025年9月上旬 メールにて通知

応募詳細 下記事務局 HP・もしくはQRコードからアクセスをお願いします。
<https://www.sirnet.co.jp/shizen/>



2024採択実績 全13テーマ

採択テーマ
樹木根に学ぶカテーテル挿入システムの開発
微生物機能を応用した砂の固化技術の現場実装に向けた試験施工と評価
核酸の巧妙な構造形成の仕組みを利用した新奇材料創製： 核酸ナノ粒子超格子の高品質単結晶作製と光学信号増強プローブへの応用
ハチの巣に学ぶ超分子二次元物質創製法の開拓
アンゴラウサギに学ぶ培養動物繊維の開発
昆虫の翅表面は無菌状態？に学ぶ：メカノ殺菌技術の水中細菌への応用

採択テーマ
ヒトの手に学ぶロボットハンドのための機械的マルチプレクサの開発
細菌間コミュニケーションに学ぶ戦略的な抗生物質探索
Pickeringエマルジョンで細胞を模倣する化学合成プロセスの開発と 医薬品の重要中間体生産
アミノ酸代謝異常症に学ぶ免疫細胞内へのデリバリーシステムの構築
生物の偏差成長に学ぶ4Dプリンティング
カビバに学ぶうつ症状緩和機器の開発
生物進化概念を援用した地域コミュニティ計画策定法の開発

問い合わせ先

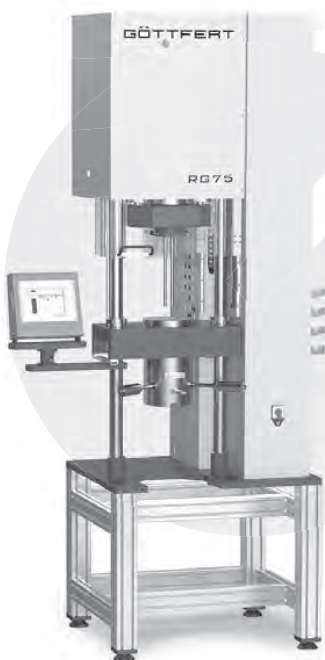
積水化学 自然に学ぶものづくり 研究助成プログラム事務局
(株) 積水インテグレートリサーチ

✉ shizen@sekisui.com

流動・成形性評価 ▶ キャピラリーレオメータ

流動曲線や材料特性の決定に

60年以上前から積み重ねてきた経験と技術によって開発されました。自動制御の高速化により、広いせん断速度や広い荷重範囲の測定が可能です。そのため、どんな材料であっても満足する結果が得られます。また、優れた様々なオプションがあり、特殊な測定も実現できます。



■ 技術的な特色

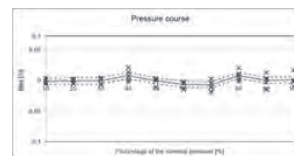
- 個人差がない測定結果
圧力の定常値を装置が判断し、高精度なデータを取得
- 正確な測定を実現するパレル・ピストンの加工・組立精度
- 清掃が容易（SUS製清掃ツールが使用可）
- シングル、ツイン、トリプルパレルシステム：直径 9.55, 12, 15, 20, 25, 30mm（異なる直径の組み合わせも可能）
- サンプルに応じたパレルを選択可能
- 最大荷重：20, 25, 50, 75, 120kN
- 速度範囲：0.00005 ~ 40mm/s (1:800000), RG20: 0.0001 ~ 40mm/s
- テストピストンの加速度：0~40mm/s²まで0.6秒
- 位置センサー：1.6nmの分解能（RG20: 53nm）
- 温度範囲：400℃まで（オプション 500℃）
- 圧力トランスデューサ：自動認識によりマニュアル操作が不要
- 圧力信号：全ての範囲で物理分解能0.005%より良い
- 圧力トランスデューサの校正はフルスケールの0.1%~

粘度測定だけじゃない キャピラリー レオメータ

■ 圧力測定の物理分解能

例えば、200MPaの圧力トランスデューサーは、物理分解能が0.01MPaである。

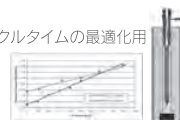
200 Mpa → 0.01MPa → 0.005%



オプションの詳細

■ 熱伝導率測定

- CAE 解析や射出成形のサイクルタイムの最適化用
- 温度範囲は 450℃ まで
- 圧力範囲は 100MPa まで
- ASTM D5930 に従い開発



■ ダイスイェル測定

- 押出成形中の材料のスウェル挙動のシュミレーション



■ 法線応力ダイ NEW !

- 中・高せん断速度域の第一法線応力差の測定が可能
真のずり粘度と伸長粘度 (Cogswell) も同時測定



■ 不安定流動の測定(シャークスキン)

- 押出・フィルム成形、コーティングの最適化用
- スリットダイ、3つの高速サンプリングセンサ



■ RHEOTENS HAUL-OFF

- ブロー・フィルム・紡糸成形、コーティング評価用
- Wagner モデルに従った溶融張力測定
- 伸長粘度 (Rheotens)



■ PVT(Pressure-Volume-Temperature)測定

- 射出成形金型内での流動と収縮挙動の最適化用
- ISO17744 に準じた測定
- 等圧測定、等温測定



■ 粘度の圧力依存性測定

- 射出成形や長い流路・メルトポンプを装備した押出成形の流動工程の最適化用
- 圧力係数の測定



GÖTTFERT
THIS IS RHEOLOGY

日本総代理店

レオ・ラボ 株式会社

<https://www.rheolabo.jp>

Tel: 03-3865-5906

E-mail: info@rheolabo.jp



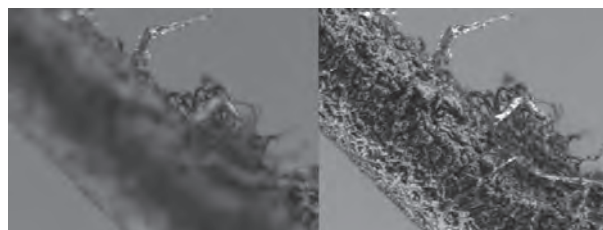
NEW!

顕微 FTIR (顕微赤外分光光度計)

Spotlight Aurora



可視カメラの被写界深度



Spotlight 150i/200i

Spotlight Aurora

新設計の光学系と電動ステージで
より高性能に、より使いやすく進化

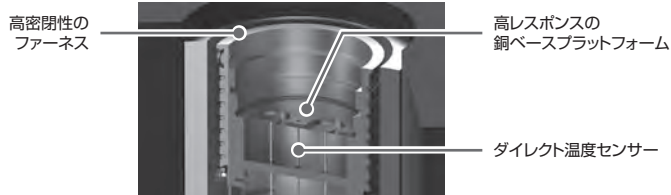
- ・ 可視画像の 3D 深度合成 **業界初**
- ・ 焦点深度が約 10 倍に向上
- ・ デュアルカメラシステム
(高解像度カメラ / 広域カメラ)
- ・ 暗視野観察に対応
- ・ 最大 3 種類の検出器を搭載可能
LN₂ 冷却 MCT / 電子冷却 MCT /
DTGS / InGaAs

示差走査熱量測定装置 (シングルファーンネス DSC)

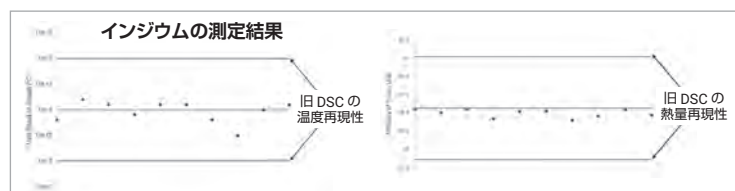
Pyris DSC 9

コンパクト・高精度、進化した熱流束 DSC 誕生

新設計ファーンネスが正確な温度制御と再現精度を実現



温度・熱量の精度・再現性が向上



パーキンエルマー合同会社

www.perkinelmer.co.jp

本社 〒221-0031 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町 1-1-32 アクアアタタワー横浜 2F TEL (045) 522-7822 FAX (045) 522-7830



PerkinElmer
Science with Purpose

職人が造る 理化学ガラス器具



弊社は、数多くのお取引先様や理化学分野の研究に携わる皆様の永年に亘るご指導とご愛顧に支えられ、今年で創業40年目を迎えることができました。

多くのお客様にご愛顧戴いた事に感謝しつつ、更なる企業体質の強化に努め、各方面の研究者様のお役に立てる様により一層の努力をしております。

業界再編など、多くの業界で大変革が本格化する時代にあって、特に私達の理化学ガラス業界に於いてもガラス加工職人の減少は深刻な問題です。私達は、常に理化学ガラス器具に於いて、『お客様の満足を第一に考える』と『研究者様の視点で考えた製品』『技術の継承』というモットーに基づいて、理化学分野の研究に携わる皆様に、ご満足いただける商品をより高度な付加価値を付けて適正な価格でご提供しております。

古川理工ならではの経験と技術力で、様々なご要望にお応えできる皆様の専属のガラス工場でありたいと考えております。

規格品から特注製品・真空ライン等、何でもご相談下さい。
ホームページからのお問い合わせも承っております。



理化学硝子製品の製造・販売元

有限会社 古川理工

〒123-0872 東京都足立区江北6-6-21

TEL (03) 3853-3791 (代)

FAX (03) 3856-9589

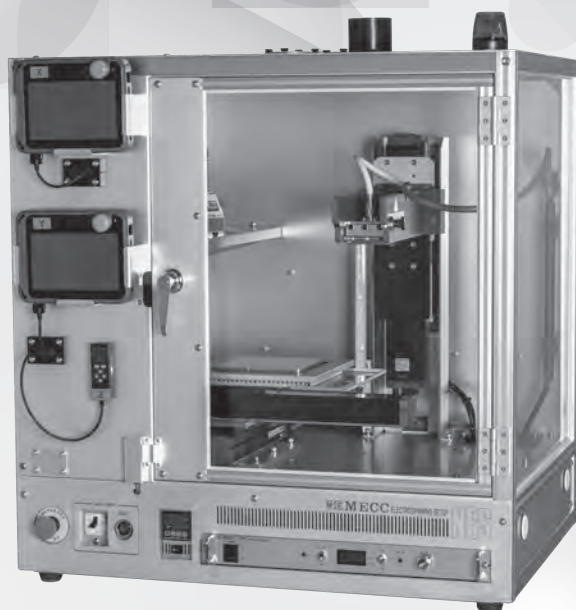
Mail : m.furukawa@friko.co.jp

<http://www.friko.co.jp/>

ナノファイバー研究を加速する1台

NES-101A

Nanofiber Electrospinning System



高均一性 × 低コスト

- 1 精密な電界制御により均一なナノファイバーを作製
- 2 必要な装備のみでカスタマイズ
- 3 紡糸を観察しやすい2面の強化ガラス
- 4 高操作性、作業者の安全に配慮した設計

展示ブースで実機をご確認ください

“ハンディスピナー”
のデモも実施中！



繊維科学・繊維技術に、確かな統計を XLSTATが、データ解析の精度を研究の推進力に変える

XLSTAT（エクセルスタット）は、研究活動を強力にサポートする統計解析ソフトです。Excelアドオン形式で使いやすく、幅広い分野の研究に対応する多彩な機能を搭載。データ解析の効率化、実験結果の深掘り、論文作成のスピードアップに貢献します。

多様な解析手法

t検定、分散分析、回帰分析、多変量解析など、あらゆる研究分野で必要となる統計解析手法を網羅。

直感的な操作性

Excelアドオン形式なので、普段使い慣れたExcel環境でシームレスにデータ解析。統計ソフトの知識がなくても安心。

研究時間の短縮

データ入力から解析、グラフ作成まで、一連の作業を効率化。貴重な研究時間を有効活用。

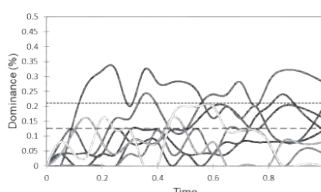
信頼性の高い結果

厳密な統計アルゴリズムに基づいた正確な結果を出力。論文投稿やプレゼンテーションに自信を持って臨めます。

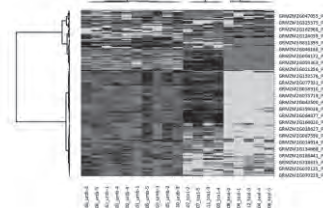
充実したサポート

チュートリアル、オンラインサポートなど、安心して利用できる環境を提供。

TDS曲線



ヒートマップ



エントリーグレード

Basic

機能数
約100

最小二乗回帰 (OLS)、ANOVA (分散分析)、記述統計 (箱ひげ図、散布図を含む)、主成分分析 (PCA)、2標本の t検定と z検定、相関検定、1標本の t検定および z検定、分割表の検定、散布図、分散の2標本比較

Basic+

機能数
約120

線形回帰、分類と回帰木、ANOVA (分散分析)、記述統計量 (箱ひげ図と散布図を含む)、主成分分析 (PCA)、偏最小2乗回帰 (PLS)、非線形回帰、ロジスティック回帰 (2値、順序、多項式)、相関検定、2標本の z検定および z検定

プレミアムグレード

Premium

機能数
約250

ANOVA (分散分析)、記述統計 (箱ひげ図、散布図を含む)、線形回帰、主成分分析 (PCA)、Mann-Kendall傾向検定、相関検定、時系列の均質性検定、ペナルティ分析、ARIMA、カプラン・マイヤー分析



信頼の導入実績

- 世界120 か国以上
- 150,000 人以上のユーザー

分野・業種別グレード

Sensory

機能数
約150

ペナルティ分析、CATAデータ分析、k割合検定、プリファレンス・マッピング (PREFMAP)、多因子分析 (MFA)、パネル分析、コ克蘭Q検定、感覚識別検定、ANOVA (分散分析)、TURF分析

Marketing

機能数
約170

TURF分析、マルチウェイクロスタブジェネレーター、MaxDiff分析、顧客生涯価値、コンジョイント分析、調査データランキング、サンプルサイズ計算機、PLS/パスモデリング、ベイジアンネットワーク、ワードクラウド

Life Sciences

機能数
約160

Cox比例ハザードモデル、カプラン・マイヤー分析、非線形回帰、ヒートマップ、投与効果分析、手法比較 (Bland Altman)、微分発現、ROC曲線、ANOVA (分散分析)、線形回帰

Forecasting

機能数
約150

時系列データの平滑化、Mann-Kendall 傾向検定、散布図、データのサンプリング、k-means クラスタリング、自己回帰和移動平均、時系列の均質性検定、時系列の記述統計、モンテカルロ・シミュレーション、極端勾配ブースティング (XGBOOST)

Quality

機能数
約150

サブグループ・チャート、個別グラフ、ヒストグラム、パレート図、ロジスティック回帰 (2値、順序、多項式など)、スクリーニング計画、タグチ計画、外れ値に対するグラブスの検定、分割表の検定、正規性の検定

Drive Your Research - あなたの研究を支援する -

ユサコ株式会社

研究支援事業部

XLSTAT

<https://rs.usaco.co.jp/>

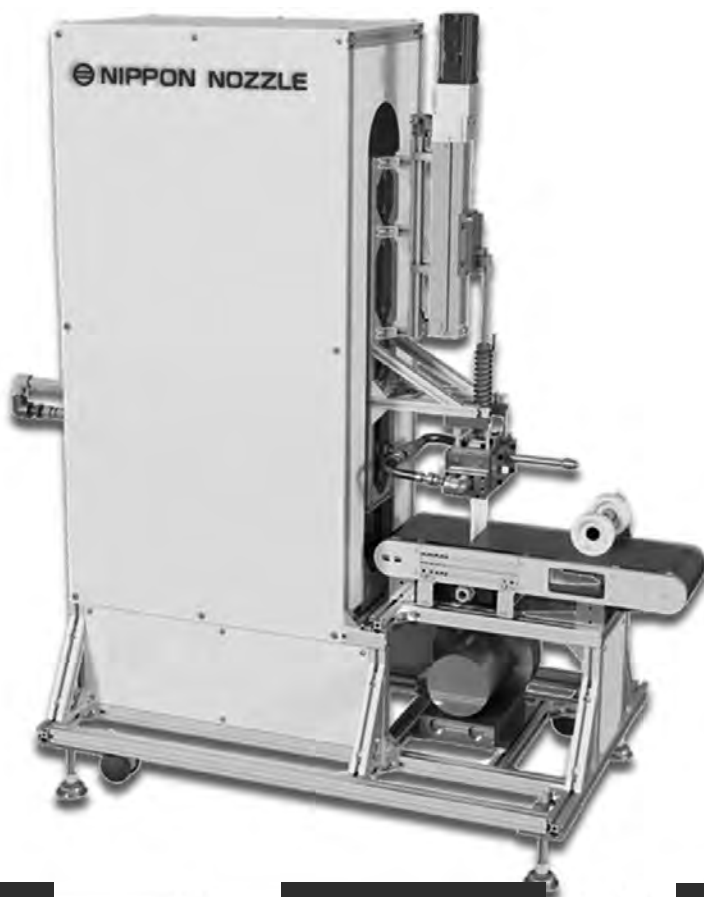
機能一覧表



操作方法・活用例



超小型 MB不織布製造装置



少量から実現する不織布開発

少量試作

約50gの樹脂量で試作可能
独自の押出し方式を用いた
メルトブローン製法で、
少しの材料でも不織布を作製。

コンパクト設計

約1畳のスペースで設置可能。
研究室など限られたスペースでも
対応可能。

医療・研究用途に最適

組立て・分解が簡単
流路内の清掃が容易で、
コンタミネーション対策万全。

■ 紡糸試験も承ります



紡糸実績

樹脂	PP,PET,PLA,その他
繊維径	1~30μm
目付	5~150g/m ²
有効幅	約100mm

日本ノズル株式会社
〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷2-1-1
TEL:078-991-6826
<http://www.nippon-nz.com>

繊維の可能性を無限大に。





繊維学会誌

2025年5月 第81巻 第5号 通巻 第950号

目次

時評	繊維学会の未来への道	濱田 仁美 P-205
----	------------	-------------

研究委員会活動の概要

若手研究委員会	原 光生 P-206
地球に優しい繊維材料研究委員会	沼田 圭司 P-207
紙パルプ研究委員会	江前 敏晴 P-208
堅ろう度標準化研究委員会	堀 照夫 P-209
感性研究フォーラム研究委員会	徳山 孝子 P-210
繊維加工研究委員会	増子 富美 P-211
超臨界流体研究委員会	澤田 和也 P-212

特集 〈繊維とバイオのインターフェース〉

ナノセルロースを大阪・関西万博で展示	北川 和男 P-213
シルクゲルから成る癒着防止吸収性バリアの開発	神戸 裕介 P-216
生分解性ポリエステルナノファイバーの形態および 高次構造の制御とバイオインターフェースとしての応用	石井 大輔 P-220
硫酸化糖鎖の抗ウイルス活性	白 世明・吉田 孝 P-224
バイオ由来繊維高分子	青木 隆史 P-236

連載 〈繊維 街歩き(12)〉

久留米絰資料館訪問記	小寺 芳伸 P-241
------------	-------------



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 81, No. 5 (May 2025)

Contents

Foreword	Path to the Future for Our Fiber Science and Technology	
		Hitomi HAMADA P-205

Reports from Research Committees		
Young Scientists Research Committee	Mitsuo HARA	P-206
Earth-Friendly Textile Material Research Committee	Keiji NUMATA	P-207
Pulp & Paper Research Committee	Toshiharu ENOMAE	P-208
Standardization of Fastness Research Committee	Teruo HORI	P-209
Kansei Forum Research Committee	Takako TOKUYAMA	P-210
Fiber Finishing Research Committee	Fumi MASUKO	P-211
Supercritical Fluids Research Committee	Kazuya SAWADA	P-212

Special Issue on Interface between Fibers and Bio-Based Systems		
Introduction of the Nanocellulose Booth at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan	Kazuo KITAGAWA	P-213
Development of a Silk Fibroin Hydrogel with Enhanced Biodegradation for Preventing Post-Operative Adhesion	Yusuke KAMBE	P-216
Biodegradable Polyester Nanofibers: Control of Morphology and High-Order Structure and Applications as Bio-Interface	Daisuke ISHII	P-220
Antiviral Activity of Sulfated Polysaccharides	Shiming BAI and Takashi YOSHIDA	P-224
Bio-Based Fiber Polymers	Takashi AOKI	P-236

Series on Culture and Technology of Textile (12)		
Report on Visit to the Kurume Kasuri Museum	Yoshinobu KOTERA	P-241



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 81, No. 5 (May 2025)

Transaction / 一般論文

❖ Comparison of the Structural and Physical Properties of Two Alginate Ion Complexes with Different Cationic Surfactants

Diaa Hamed Abdelshafy Abdelsalam, Sarah Sultan Awad Sultan, and Takashi Aoki 64

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology (JFST)”

毎月の目次と抄録を繊維学会誌に掲載して参ります。本文はJ-Stageでご覧になれます。繊維学会のホームページ「学会誌・出版」から、また直接下記のアドレスにアクセスしてください。

英語: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

JFST はどなたでも閲覧は自由で認証の必要はありません。但し、著作権は繊維学会に帰属されます。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員

Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長
Editor in Chief

武野明義(岐阜大学)
Akiyoshi Takeno

編集副委員長
Vice-Editor

編集委員
Associate
Editors

青木隆史(京都工芸繊維大学大学院)
Takashi Aoki

髪谷要(和洋女子大学大学院)
Kaname Katsuraya

上高原浩(京都大学大学院)
Hiroshi Kamitakahara

金晃屋(信州大学)
KyoungOk Kim

久保野敦史(静岡大学)
Atsushi Kubono

宮瑾(山形大学)
Gong Jin

澤渡千枝(武庫川女子大学)
Chie Sawatari

朱春紅(信州大学)
Chunhong Zhu

登阪雅聡(福井大学)
Masatoshi Tosaka

花田美和子(神戸松蔭大学)
Miwako Hanada

久田研次(福井大学大学院)
Kenji Hisada

山本勝宏(名古屋工業大学)
Katsuhiko Yamamoto

Comparison of the Structural and Physical Properties of Two Alginate Ion Complexes with Different Cationic Surfactants

*Diaa Hamed Abdelshafy Abdelsalam^{*1},*

*Sarah Sultan Awad Sultan^{*1}, and Takashi Aoki^{*2}*

^{*1} *Department of Biobased Materials Science, Kyoto Institute of Technology, Matsugasaki, Sakyo, Kyoto 606-8585, Japan*

^{*2} *Faculty of Fiber Science and Engineering, Kyoto Institute of Technology, Matsugasaki, Sakyo, Kyoto 606-8585, Japan*

Two types of alginate (Alg) ion complexes were prepared from anionic alginate and two cationic surfactants. The surfactants had the same hexadecyl tail chain and different polar cationic groups: hexadecylpyridinium chloride (HDPyCl) and hexadecyltrimethylammonium bromide (HDTMABr). The Alg ion complexes Alg-HDPy (A-HPy) and Alg-HDTMA (A-HTm) were water-insoluble and soluble in ethanol. The transparent films of the A-HPy and A-HTm were obtained from the alcoholic solutions to study and compare their structures and physical properties using scanning electron microscope (SEM), thermogravimetric analysis (TGA), differential scanning calorimetry (DSC), small angle X-ray scattering (SAXS), and tensile test. The results showed that the A-HPy and A-HTm powders and films had distinct structures and physical properties, although they possessed the same alginates and alkyl chains with the same carbon number. This study reports that a variety of cationic moieties have different ion-pair formations and controlled inherent bulk structures and properties. Furthermore, the Alg ion complex films showed antibacterial functions, and there were differences with respect to their biological activities. **J. Fiber Sci. Technol.**, 81(5), 64-75 (2025) doi 10.2115/fiberst.2025-0009 ©2025 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

会告 2025

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 81, No. 5 (May 2025)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
2025. 5. 23(金) ～25(日)	第2回 国際超臨界 CO ₂ 染色加工シンポジウム(中国・青島)	A35
6. 11(水) ～13(金)	2025 年繊維学会年次大会 (東京都・タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール))	A9
6. 24(火) 25(水)	第92回紙パルプ研究発表会(東京都・東京大学弥生講堂 一条ホール)	A35
7. 3(木) 4(金)	界面コロイドラーニング 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座 (東京都・同志社大学東京オフィス)	A35
7. 5(土)	第62回化学関連支部合同九州大会(北九州市・北九州国際会議場)	A34
9. 6(土) 7(日)	令和7年度化学系学協会東北大会 (山形県・対面開催: 山形大学米沢キャンパス)	A33
9. 9(火) 10(水)	第39回日本キチン・キトサン学会大会 (仙台市・東北学院大学五橋キャンパス)	A35
10. 15(水) ～17(金)	第74回ネットワークポリマー講演討論会(山口県・KDDI 維新ホール)	A35
10. 14(火) ～16(木)	第73回レオロジー討論会(新潟県・アオーレ長岡)	A35
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	2010 年 6 月号
	繊維学会定款(2012 年 4 月 1 日改訂)	2012 年 3 月号
	Individual Membership Application Form	2012 年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(2012 年 1 月 1 日改訂)	2014 年 1 月号
	訂正・変更届用紙	2014 年 3 月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	内田 哲也(岡山大)				
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大院)	出口 潤子(旭化成(株))			
編集委員	大島 直久((一社)日本染色協会)	奥家 智裕(帝人(株))	鹿野 秀和(東レ(株))	上高原 浩(京大)	
	金 慶孝(信州大)	榊原 圭太(産総研)	澤田 和也(大阪成蹊短期大)	朱 春紅(信州大)	
	杉浦 和明(京都市産業技術研究所)	高崎 緑(横浜国立大院)	谷中 輝之(東洋紡(株))	長嶋 直子(金城学院大)	
	中野 恵之(西脇市郷土資料館)	西田 幸次(山形大)	檜垣 勇次(大分大)	廣垣 和正(福井大)	
	松野 寿生(山形大)				
顧問	浦川 宏(京都工業繊維大名誉教授)	土田 亮(岐阜大学名誉)	村瀬 浩貴(共立女子大)	小寺 芳伸(元 三菱ケミカル(株))	

2025 年（令和 7 年）繊維学会行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
2025 年繊維学会年次大会	2025 年 6 月 11 日(水)～13 日(金)	タワーホール船堀
2025 年繊維学会基礎講座	2025 年 7 月 31 日(木)～8 月 1 日(金)	オンライン開催 (Zoom システム利用)
2025 年第 53 回繊維学会 夏季セミナー	2025 年 9 月 4 日(木)～5 日(金)	別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)
2025 年繊維学会秋季研究発表会	2025 年 10 月 27 日(月)～28 日(火)	山形テルサ

繊維学会の正会員様へのお知らせ

繊維学会正会員様の会員資格は毎年自動継続となり、別段のお手続きは必要ございません。

異動、退職、卒業などによりご登録情報に変更がございましたら、お早めにご連絡を頂きますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

*** 学会誌の送付先の変更**

住所変更(新旧の住所)、担当者変更(新旧の担当者名)、時期など

*** 退会をご希望の際は、メールまたは FAX に必要事項**

会員番号、氏名、退会希望日、連絡先などを記入し、下記までご連絡をお願いします。

問合せ先 一般社団法人繊維学会 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL : 03-3441-5627 FAX : 03-3441-3260 E-mail : office@fiber.or.jp

繊維学会論文誌 (JFST)

Journal of Fiber Science and Technology

- JFST は、繊維科学を中心とした幅広い専門分野をカバーする査読付きの英文・和文のハイブリッドジャーナルです。
- JFST は、Web of Science Core Collection をはじめ Journal Citation Report , Scopus 等の各種データベースに収録され、永く Impact Factor を維持し、国際的な評価を得ている日本の繊維科学をリードする学術論文誌です。
- JFST は、読者へのサーキュレーションの良いオープンアクセス誌としていますが、掲載内容の二次利用については、著作権保護の立場から一般社団法人 著作権協会に著作権管理および利用許諾業務を委託しています。

複写等をご希望される方へ

繊維学会では、複写複製、転載複製及び AI 利用に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。日本を除く国・地域で当該利用をご希望の方は、学術著作権協会ホームページ(<http://www.jaacc.org/en/>)にて申請先をご確認ください。

The Society of Fiber Science and Technology, JAPAN authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights, reuse rights and AI ML rights of copyrighted works.

If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JAC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

2024 年度 繊維学会功績賞受賞者



武野明義氏

選考経過

会長 辻井敬亘

繊維学会功績賞は、長年にわたり本学会の発展ならびに繊維科学・工業の進歩に顕著な貢献をされた方を褒章するものです。2024年度の功績賞は、本年2月に開催された選考委員会において慎重に審議が重ねられた結果、武野明義氏が満場一致で受賞候補者に選出され、続いて3月の理事会において正式に受賞が決定いたしました。以下に、受賞者である武野明義氏の略歴と主要な業績をご紹介します。

武野氏は、平成2年に東京工業大学 大学院理工学研究科 博士後期課程を修了し、工学博士の学位を授与されました。同年、岐阜大学の助手として着任され、平成10年には同助教授(平成19年4月の法改正により准教授)、さらに平成28年には同工学部教授に昇任されました(令和2年には東海国立大学機構岐阜大学への組織再編を経て現職)。この間、精力的に教育・研究活動に従事されてきました。また、平成30年4月から5年間にわたり岐阜大学研究推進・社会連携機構 Gu コンポジット研究センターのセンター長として大学運営に、令和3年からは FiberCraze 株式会社の取締役 CTO として研究成果の社会実装にも尽力されています。

同氏は、高分子繊維の物性に関する幅広い分野で数多くの先駆的成果を挙げられ、学术界および産業界に対して多大な貢献をされてきました。特に、「イオン注入技術」「高分子蒸着膜」「強化繊維複合材料」「クレージング現象の応用」という4つの主要テーマにおいて、独自の視点と高度な実験技術により数々の革新的な成果を発表されています。

まず、イオン注入技術に関する研究では、高分子半導体材料におけるドーピングの不安定性という課題に対し、イオン注入法を適用することで、飛躍的に安定性を向上させた高分子 p-n 接合素子の開発に成功しました。特に、高電場で加速したイオンを素材に注入する手法を確立し、従来困難であった長寿命化と大気中での安定動作を実現された点は特筆すべき成果です。さらに、脱離分子と分子構造の関係を詳細に解析し、イオン照射効果を明らかにされた点も高く評価されています。

次に、高分子蒸着膜に関しては、高分子が蒸発しないという従来の常識を覆し、分子鎖の切断を抑えながら真空蒸着を可能とする技術を確立されました。特に

ポリフッ化ビニリデンにおいては、膜形成時に結晶構造と双極子配向を制御する革新的な手法へ展開し、蒸着のみで圧電性を有する薄膜の作製に成功するとともに、ガスセンサーなどへの応用可能性も示され、圧電性材料の実用化に新たな道を拓かれました。

さらに、強化繊維複合材料の研究においては、圧縮破壊特性を繊維長・繊維径や微細構造と関連付けて解析され、複合材料の性能における界面特性の重要性を明らかにされました。これらの知見を基に、潜水衣用複合フォーム、軽量パネル、シリコンゴム粒子ブレンドなど、実用性の高い複合材料の開発を進められました。また、アラミド繊維不織布の集合構造と力学特性の関係を理論的に解明し、経験に頼らない材料設計指針を示されました。さらに、複合材料の水蒸気爆砕法など、環境負荷軽減に向けた技術開発にも取り組まれました。

高分子のクレージング現象に関する研究では、ナノ多孔化されたクレーズの周期性や形態を精密に制御する技術を確立され、これにより、正面からは透明で斜めからは不透明に見える視界制御性フィルム、クレーズ内に導電性高分子を重合させた電氣的異方性フィルム、クレーズの周期性とナノ孔の連結性を利用したりチウムイオン電池セパレータなどの開発へと展開されました。これらの成果は高く評価され、繊維学会の論文賞(平成14年)および学会賞(平成20年)を受賞されています。また、これらの研究成果を基に大学発ベンチャー企業を設立され、産学連携にも積極的に貢献されています。

このように、武野明義氏は、繊維高分子材料の基礎から応用に至るまで一貫して独自の視点で研究を展開され、その成果は学术界のみならず産業界にも広く波及しています。特に、構造制御や界面設計、クレージング現象の応用などにおける技術革新と理論構築は、高く評価されるものです。これらの功績は、繊維科学および繊維工業の発展に寄与し、今後のさらなる展開も期待されます。加えて、学会への貢献も顕著であり、東海支部長、夏季セミナー運営委員長、JFST 編集委員長をはじめとする数々の役割を担われるとともに、学会誌や学術論文の執筆・査読を通じて、学術的成果の普及と発信に大きく貢献されました。

高分子電解質ブラシによる機能性表面の創出と水界面構造解析

工学院大学 先進工学部 小林 元 康



〈研究業績〉

表面グラフト重合は繊維をはじめ、樹脂やセラミックス、金属酸化物の表面改質に用いられている。特に高密度にグラフトされたポリマーブラシ構造は新たな機能を発現することから、様々な応用が期待されている。その中でも小林元康氏は、ポリカチオンやポリアニオン、双性イオン型ポリマーなど高分子電解質ブラシを材料表面に調製し、その表面が示す超親水性や水中防汚性、水潤滑性の機構を高分子ブラシと水界面の構造解析から解明する研究に取り組んできた。また、表面グラフト化微粒子を用いた新たなブラシ界面の創出なども展開している。以下に、同氏の主な研究業績の概要を示す。

1. 高分子電解質ブラシによる表面の機能化

表面開始制御ラジカル重合法を用いて高分子電解質や双性イオン型ポリマーなど高い極性を示すポリマーが高密度にグラフトしたポリマーブラシを無機材料基板や繊維、樹脂など多様な材料表面に調製した^{1,2)}。これに関連して新規双性イオン型ポリマーの合成も達成している^{3,4)}。高分子電解質ブラシは表面自由エネルギーが極めて高く、水中において気泡や油との付着エネルギーが非常に小さくなることを見出し、これが優れた水中防汚性に寄与していることを明らかにした^{5,6)}。また、対向する高分子電解質ブラシを水中で摺動すると、膨潤したブラシ層が安定な潤滑層を形成し、摺動面の直接接触を抑制することで動摩擦係数が低下することを超薄膜光干渉法により明らかにした⁷⁾。

2. 高分子電解質と水界面の構造解析

走査プローブ顕微鏡によるフォースカーブ測定や中性子反射率測定を駆使し、高分子電解質ブラシの水中膨潤挙動は、官能基間にはたらく静電相互作用や双極子-双極子相互作用、水溶液中の塩イオンのカオトロピック性やコスモトロピック性、塩濃度などの影響を受けることを明らかにし、系統的に説明できる指針を示した^{8,9)}。さらに、示差走査熱量分析により高分子電解質の水和水を定量的に解析し¹⁰⁾、不凍水や中間水の分率が表面グラフト構造によって変化することを明らかにした。

3. グラフト微粒子による機能性表面の創出

従来の grafting-from 法では広い面積や凹凸のある材料表面にポリマーブラシを調製すること技術的な困難を伴い、実用化への障壁となっている。そこで、シリカ微粒子に高分子電解質をグラフトし、これを材料

に塗布し適切に固定化することで、比較的容易にブラシ層を表面に構築する手法を提案した。この高分子電解質グラフト微粒子薄膜は、海洋付着性生物のフジツボ幼生であるキブリスに対し極めて小さい付着力を示すことが実証され^{11,12)}、海洋汚損を低減できる可能性が期待される。

以上のように小林元康氏の高分子電解質ブラシから創出された機能性表面は幅広い応用が期待され、次世代の表面改質に非常に有用である。繊維・高分子材料の機能化と展開に関する成果は、繊維材料分野の発展にも資するものであることから、繊維学会賞に値するものと認められる。

〈主な業績リスト〉

- 1) M. Kobayashi, Y. Higaki, T. Kimura, F. Boschet, A. Takahara, B. Ameduri, *RSC Advances*, **6**, 86373-86384 (2016).
- 2) M. Kobayashi, T. Matsugi, J. Saito, J. Imuta, N. Kashiwa, A. Takahara, *Polym. Chem.* **4**, 731-739 (2013).
- 3) T. Komiya, I. Watanabe, R. Goseki, M. Kobayashi, *Langmuir* **41**, 1975-1984 (2025).
- 4) S. Mihara, K. Yamaguchi, M. Kobayashi, *Langmuir* **35**, 1172-1180 (2019).
- 5) S. Shiimoto, H. Higuchi, K. Yamaguchi, H. Takaba, M. Kobayashi, *Langmuir* **37**, 3049-3056 (2021).
- 6) M. Kobayashi, Y. Terayama, H. Yamaguchi, M. Terada, D. Murakami, K. Ishihara, A. Takahara, *Langmuir* **28**, 7212-7222, (2012).
- 7) M. Kobayashi, H. Tanaka, M. Minn, J. Sugimura, A. Takahara, *ACS Appl. Mater. Interfaces*, **6**, 20365-20371 (2014).
- 8) T. Komiya, N. L. Yamada, M. Kobayashi, *Polym. J.* **57**, 291-301 (2025).
- 9) M. Kobayashi, K. Ishihara, A. Takahara, *J. Biomat. Sci.: Polym. Ed.* **25**, 1673-1686 (2014).
- 10) S. Shiimoto, K. Inoue, H. Higuchi, S. Nishimura, H. Takaba, M. Tanaka, M. Kobayashi, *Biomacromolecules* **23**, 2999-3008 (2022).
- 11) K. Takeuchi, R. Sato, Y. Nogata, M. Kobayashi, *Langmuir* **39**, 17984-17992 (2023).
- 12) S. Shiimoto, Y. Yamaguchi, K. Yamaguchi, Y. Nogata, M. Kobayashi, *Polym. J.* **51**, 51-59 (2019).

無水・CO₂ 無排出染色加工技術の開発

サステナテック株式会社 代表取締役 堀 照 夫
福井大学学術研究院工学系部門 教授 廣 垣 和 正



堀 照 夫



廣 垣 和 正

当該者らは約 30 年に渡り超臨界染色加工技術について基礎から実用化開発まで幅広く研究を重ねてきた。当初は本技術の提案者であるドイツチームと連携し超臨界染色のメカニズムを解明した。具体的には超臨界二酸化炭素(scCO₂)に対する染料の溶解度測定、繊維の膨潤挙動、染色速度および吸着等温線などを測定し、これらを総括して超臨界染色の機構を明らかにした。

これらの実績が評価され、経済産業省の支援の下、2007 年に世界で初めて 350L 実用機を製造したが、販売に至らなかった。提案者であったドイツの特許が切れると同時にオランダ DyeCoo 社が製造した超臨界染色機が販売され、2009 年にタイでポリエステル(PET)ニットの染色が開始された。その後アジア 6 か国に普及しているが、アジアでの実用化は PET ニットの染色のみが対象で、織物や糸、他の繊維材料の染色は対象外で、精練や機能加工などの前後工程は依然として水系で行われている。

この間、当該者らは PET 繊維以外にポリプロピレン(PP)の染色や繊維のめっきを含めた機能加工等について研究し、その成果を基に 2022 年には NEDO 先導研究に採択された。このプロジェクトでは精練から染色、機能加工の工程、さらには釜洗浄や超臨界脱色、実機の詳細設計等を行った。当該者は研究統括・副統括を務め、多くの成果を挙げた。具体的な成果は以下の通りである。

1. 超臨界精練技術の確立：生糸の収束性と強度向上のために糸は糊付けされる。糊剤は水溶性のでんぷんやセルロース誘導体等が主体であり、これらは scCO₂ には溶解しないため scCO₂ に溶解する糊剤を開発した。糊付糸は scCO₂ 精練により付着糊剤の 99% 以上除去できることを見出した(特許申請)。
2. 超臨界染色用各種染料の開発：超臨界染色用染料については染料メーカーと連携し、長年かけて PET 用染料 18 種(黒を含む)を既存染料から選択した。PP 用染料 10 種(黒を含む)を特殊な官能基導入により新規に合成し、世界で初めて PP 染色に成功した。

綿用染色にはクロロトリアジン基を導入した反応型分散染料を 20 種類製造し、使用可能なもの 7 種類を選択した。これらの染料は塩基なしで Nylon 染色も可能(特許出願)なことを見出した。以上の染料を組み合わせて使用することで衣料用繊維のほとんどを scCO₂ 媒体で染色可能にした。

3. 超臨界染色・釜洗浄および脱色技術の確立：先行するアジアでの PET ニットの染色はドイツ提案であった 120℃、25 MPa、1 時間で行われている。当該者はこの条件を主体に PP、綿、ナイロンなどの超臨界染色の最適条件を見出すとともにわずかの共溶媒添加により、100℃、20 MPa で PET が染色できることを見出し、この条件はより安価な装置製造に活かされることを示した。また、超臨界染色後の釜汚染解決策として scCO₂ を用いて釜洗浄できる剤 6 種類を開発し、特許出願している。繊維製品のリサイクルを決定づける手法として scCO₂ にわずかの共溶媒添加で染色物から染料が脱色できる技術を新規に開発した(特許申請)。
 4. 超臨界機能加工技術の確立：染色後には一般に各種機能加工が行われる。当該者は scCO₂ 媒体で加工できる各種機能剤(防炎、撥水、抗菌、抗ウイルス、親水)を開発し、加工布帛の機能は 30 回洗濯にも耐え得ることを見出した。
 5. 大型装置の設計および LCA 評価：社会実装を目的に 2000L クラスの超臨界染色加工機の設計を終え、本装置が精練から染色および機能加工までの全工程を 1 つの装置を用いて行うことが可能で、従来の染工場のように精練機や各種染色機、洗浄機、乾燥機、コーター・ラミネータなどの装置を揃えることなく全工程を非水系で達成できることを示した。LCA 評価を行い、水系染色に比べ、CO₂ 排出量は 36%、エネルギー使用量は 58% 削減可能とした。
- 以上のように本研究成果は染色加工業界の革命的な手法を確立したもので繊維学会技術賞として評価できる。

金属チオラートからなる繊維状配位高分子の構築

名古屋工業大学大学院工学研究科 江 口 裕



金属イオンと有機配位子が配位結合によって連結した配位高分子は、一般的な有機高分子には見られない特異な電氣的・光学的特性の発現や、無機材料を調製する際のテンプレートとしての利用など、機能性材料としての応用が期待されている。しかしながら、多くの配位高分子は微結晶などの粉末状でしか得ることができず、柔軟性や成形性に乏しいために、材料応用の範囲は限定的である。柔軟性を有する繊維状の配位高分子を構築することができれば、フレキシブルデバイスなど多彩な応用展開が期待できる。これまでの繊維状配位高分子の構築に関する研究は、特殊な合成装置を利用したものが主で、材料応用を開拓していくためには簡便な調製手法の開発が必要である。このような研究背景の中で、江口裕氏は銅チオラートからなる配位高分子において、繊維状の構造体が自発的に形成する現象を見出し、その形成機構や材料応用の研究に取り組んできた。

江口氏は、種々の条件でヨウ化銅と p-トルエンチオールを反応を検討したところ、特定の条件で反応を行うことで、室温での攪拌という極めて簡便な方法により銅チオラートが繊維状の配位高分子として得られることを見出した。得られた繊維構造体は、吸引濾過によって反応液から回収することで、ある程度の折り曲げが可能な柔軟性を示す不織布状の自立膜として得

ることができた。反応中における生成物の構造の経時変化を電子顕微鏡により観察して、反応初期に形成した不定形の凝集体から、樹状に繊維構造が成長するという特異な形成過程を経由していることを明らかにした。また、X線回折法を用いて繊維構造の形成メカニズムを検討した結果から、凝集体から繊維構造への転移は結晶性向上による安定化を駆動力としていることが示唆され、形成される構造体のモルフォロジーが反応温度や攪拌速度に大きく依存することを明らかにした。

さらに江口氏は、銅チオラートからなる繊維構造をテンプレートとして、無機半導体材料として知られる硫化銅(Cu_2S)の調製を検討した。窒素気流中で銅チオラートからなる自立膜を焼結したところ、自立膜の形状を保持したまま、黒色の Cu_2S へと変換できることを明らかにした。得られた Cu_2S は銅チオラートの構造を反映した繊維状であり、本手法が特異なモルフォロジーを有する半導体材料の新たな調製方法として有用であることを示した。

以上のように、江口裕氏の配位高分子の形成に関する研究は、学術的に優れており、また繊維材料の分野における配位高分子のさらなる応用展開を期待させるものであり、繊維学会奨励賞に相応しいと認められた。

配向結晶化挙動の定量解析から推定したポリエステル繊維の強度発現メカニズムに関する研究

信州大学 繊維学部 富 澤 錬



繊維の強度は初期構造が破壊された後まで残った“外力負担構造”によって決まる。したがって、繊維変形前の平均構造のみならず、破断時に外力を負担し得る構造の形成または破壊過程を、その場観察から見積もる必要が生じる。破壊過程については、フィルムや繊維の引張試験中の構造変化の観察により、材料が変形したときに生じる内部構造変化が明らかにされてきた^{1,2)}。しかしながら、破壊過程では材料内の応力分布や不均一な変形が生じるために、外力とそれを支える構造の直接的な対応付けが困難であった。そこで、富澤錬氏は、汎用繊維であるポリエチレンテレフタレート(PET)繊維を研究対象に、等方的な非晶が配向結晶化する過程をその場観察し、この時に延伸応力を支えている構造に注目した。この際、急速加熱が可能な炭酸ガスレーザーというユニークな延伸方法を用いることで、変形時の延伸応力の分布が繊維軸方向に極めて狭くなるように設定した。この延伸点近傍に大型放射光施設SPRING-8の高輝度放射光を照射することで、その場観察の時間分解能を極めて高精度である最大100 μsまで向上させることに成功した。これにより、延伸応力が印加された際に引き延ばされた配向分子鎖を、高い精度で測定できるようになった。

上記のシステムにより、PET繊維において配向分子鎖束からなるsmectic中間相が観察できることが知られている³⁾。同氏は、このsmectic(001')面回折の強度が延伸倍率とともに増加し、高延伸倍率では回折強度が飽和し、その後は(001')回折の面間隔が延伸倍率とともに増加することを示した[業績リスト1]。これは、延伸応力によって分子鎖が伸長していることを示している。また、この面間隔と延伸応力を対応付けることで、配向分子鎖の見かけの弾性率40 GPaを求めた[業績リスト1]。これは、理論的な結晶弾性率の3分の1程度であり、延伸点で分子鎖全体のおおよそ3分の1の分子鎖に外力が加えられていることを意味している。さらに、この分子鎖伸長は、完成糸の引張強度や熱収縮と良好な線形関係を示すことも確認した[業績リスト2]。これは、ネッキング直後に外力を負担している分子鎖の一部が、ラメラ結晶が破壊された後も引張張力を負担しており、この分子鎖が延伸繊維の強度と熱収縮を支配していることを意味している。同報告においては、3つの異なる分子量のPETについて、各平均分子量での外力を支える分子鎖の割合と分子量分布を対応付けた結果、臨界分子量23,000 g/mol以上の長さを持つ分子鎖が主に延伸応力を支えており、前述の通り、この臨界分子鎖の量が延伸後の引張強度や収縮率を決めている可能性を示した[業績リスト2]。また、これらの分子鎖の伸び量の応力依存性を調査することで、この臨界分子量以上の分子鎖に効率的に延伸応力を印可するためには、60-90 MPaの延伸応力が最低でも必要であることを見出した[業績リスト3]。

本成果は要するに、PETにおいて、臨界分子量

23,000 g/mol以上の分子鎖を必要量含有するような重合を行い、その割合に応じて臨界応力以上の延伸応力で引き延ばせば、繊維材料を設計する際の要求強度を満たすことができることを意味している。したがって、本成果は、工場生産における材料物性の設計指針を提案したとみなせる。また、臨界分子鎖を繊維軸方向に引き延ばすと100-200 nmとなり、これに類似の周期構造は過去の研究でも観察されている⁴⁾。同氏はこのスケールに注目し、近年利用できるようになった超小角散乱(USAXS)撮像にも挑戦している。現在は、USAXS領域の構造形成および構造破壊を積極的に観察することで、前述の臨界分子鎖の末端が集中するような高次な構造ムラの解析に挑み、合成繊維の物性制御に向けたさらなる構造究明を展開している。これらの研究成果と今後の取り組みへの期待により、同氏は繊維学会奨励賞に相応しいと認められた。

References

- 1) D. Kawakami et. al., *Macromolecules*, 41 (2008), 2859-2867.
- 2) M. Shioya et. al., *Macromolecules*, 41 (2008), 4758-4765.
- 3) T. Yamaguchi et. al., *J. Polym. Sci. Polym. Phys.*, 46 (2008) 2126-2142.
- 4) R. Tomisawa et. al., *POLYMER JOURNAL*, 51 (2019), 211-219.

〈研究業績リスト〉

1. R. Tomisawa, S. Oneda, T. Ikaga, K. H. Kim, Y. Ohkoshi, K. Okada, H. Masunaga, T. Kanaya, H. Katsuta, Y. Funatsu, *Polymer*, 164, 163-173, 2019, "Effects of dimensions and regularity on the mechanical properties of the smectic phase formed during orientation-induced crystallization of poly(ethylene terephthalate)", <https://doi.org/10.1016/j.polymer.2019.01.002>
2. R. Tomisawa, M. Nagata, Y. Otsuka, T. Ikaga, K.H. Kim, Y. Ohkoshi, K. Okada, T. Kanaya, H. Katsuta, *Scientific Reports*, 13, 11759, 2023, "Tensile strength of polyester fiber estimated by molecular-chain extension prior to structure formation", <https://doi.org/10.1038/s41598-023-38987-w>
3. R. Tomisawa, T. Ikaga, K.H. Kim, Y. Ohkoshi, K. Okada, T. Kanaya, H. Katsuta, *Polymer*, 312, 127605, 2024, "Effects of drawing stress on the molecular-chain extension in fiber structure formation of poly(ethylene terephthalate)", <https://doi.org/10.1016/j.polymer.2024.127605>
4. 富澤 錬、金 慶孝、「繊維の力学物性を決める構造」、繊維学会誌80周年記念特集号、pp. 317-325, 2024

イノシトールの酸化物を利用した 羊毛の濃色着色

大阪産業技術研究所 森之宮センター 大 江 猛



カードラントリプロピオネート繊維の配向結晶の 観察と微生物産生ポリエステル繊維との比較

東京大学大学院 農学生命科学研究科 木 村 尚 敬



繰り返し使用可能な炭素繊維を再生する 新しいリサイクルプロセスに関する研究

北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 永 田 康 久



〈選考経過〉

繊維学会論文誌 *Journal of Fiber Science and Technology* (JFST) は、繊維およびその関連分野における未発表の研究成果を対象とする一般論文のほか、工業技術的な知見や改良、考案等を主題とする技術論文、ノート、研究速報、ならびにレビュー論文を掲載している。また、不定期に特定テーマに関する企画論文も公募し、繊維分野の学術的発展に資する情報発信を行っている。2024 年には、一般論文 17 編（うち英文 10 編）、技術論文 6 編（すべて英文）、ノート 2 編（うち英文 2 編）、レビュー論文 2 編（うち英文 1 編）、企画論文 1 編（英文）を掲載し、繊維化学、物性、材料、染色、加工、洗浄、機能性、リサイクルなど、繊維に関する最先端の研究成果を広範に取り扱った。

令和 7 年度より開始される科研費の新制度においては、採択課題に関する査読付き学術論文の即時オープンアクセス化が義務付けられている。JFST はすでに即時オープンアクセス誌として運用されており、掲載論文は公開と同時に世界中の研究者がアクセス可能となる。2024 年 1 月から 12 月までに JFST に掲載された論文に対する同年 12 月末時点での統計によると、論文の書誌事項閲覧数は 12,777 回、ダウンロード数（総閲覧数）は 4,317 回に達している。これを 1 論文あたりに換算すると、年間平均閲覧数は書誌 456 回、ダウンロード 154 回となる。ただし、掲載月による差を考慮すれば、実質的な年間平均値はこれを上回ると推測される。

繊維学会では、JFST に掲載された論文の中から、繊維に関する科学および技術において顕著な貢献を示した研究を顕彰すべく、JFST 論文賞を授与している。この賞は、受賞者の業績を称えるとともに、今後のさらなる研究の発展を期待するものである。本年度は、JFST 第 80 巻（2024 年）第 1 号から第 12 号に掲載された全 28 編の論文のうち、レビュー論文 2 編を除く 26 編を選考対象とした。選考は、JFST 編集委員会からの推薦をもとに、14 名から構成される JFST 論文選考委員会による厳正な審査を経て行われた。選考は、論文の新規性、学術的・産業的貢献度、引用・閲覧実績等を総合的に勘案して実施された。その結果、令和 6 年度（2024 年度）は、3 名の研究者に対して JFST 論文賞を授与することが繊維学会理事会により正式に決定された。

以下に、受賞に至った 3 編の論文に関する講評を示す。

〈研究業績〉

大江氏らの論文は、イノシトールの酸化物を用いた羊毛の濃色着色法を提案し、安全性と環境負荷の低減を両立した新規技術として高く評価された。従来法に比べて短時間での染色を可能にし、産業的意義も大きい。染色機構の解明に向けた分子構造に基づく考察も行われており、学術的価値が高い。繊維学会らしい独自性を備えた染色研究であり、染色分野の研究が減少する中、貴重な成果である。2 月号掲載という利点もあるが、年間総閲覧数が最多であることから、読者からの関心も非常に高いことが伺える。持続可能な社会に資する技術として、今後の展開が期待される。*Journal of Fiber Science and Technology*, 80, No.2, 33-40 (2024).

木村氏らの論文は、カードラントリプロピオネート (CDTPr) 繊維と微生物産生ポリエステル繊維の結晶高次構造を比較し、分子鎖の柔軟性と結晶配向の関係を多角的に解析している点が高く評価された。WAXD、SAXS、TEM といった先端的手法を組み合わせ、CDTPr 繊維の特徴的な配向構造を可視化した点に新規性がある。特に、フィブリル状結晶の非周期的配向構造を明確に示した点は学術的意義が高い。また、バイオマスプラスチックという持続可能な素材を対象に、標準的評価手法を提示した点でも産業的価値がある。繊維学会論文賞にふさわしい質の高い研究成果である。*Journal of Fiber Science and Technology*, 80, No.8, 178-183 (2024).

永田氏らの論文は、炭素繊維強化プラスチック (CFRP) から炭素繊維を高効率かつ高性能を維持したまま回収する新規リサイクルプロセスを提案しており、学術的・産業的意義ともに極めて高い。硫酸の電気分解で生成される酸化性活性種を利用し、従来困難であった硬化性樹脂の分解を短時間で実現した点は新規性がある。さらに、空気バブリング等による処理促進の工夫も含まれており、環境負荷低減と資源循環に資する技術として高く評価された。月平均ダウンロード数も高く、読者からの関心度も非常に高い。繊維学会論文賞にふさわしいインパクトある研究成果である。*Journal of Fiber Science and Technology*, 80, No.10, 213-220 (2024).

JFST 編集委員長 武野明義

2025 年繊維学会年次大会

日 時：2025 年 6 月 11 日(水)～13 日(金)

主 催：(一社)繊維学会

会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)

発表分野：一般セッション

1. 繊維・高分子材料の創製
1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
2. 繊維・高分子材料の機能
2a オプティクス・フォトンクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、
2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面／表面機能、2f 耐熱性・難燃性
3. 繊維・高分子材料の物理
3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性、
3d 繊維構造解析手法の新展開、3e 繊維の表面・界面の構造と物性
4. 成形・加工・紡糸
4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 不織布・多孔体、4d 複合材料、4e 3D プリント
5. 染色・機能加工・洗浄
5a 色素、5b 染色、5c、機能加工、5d 洗浄
6. テキスタイルサイエンス
6a 紡織・テキスタイル、6b 消費科学、6c 感性計測・評価、6d アパレル工学、
6e スマートテキスタイル、6f ファッションサイエンス
7. 天然繊維・生体高分子
7a 天然材料・ナノファイバー、7b 生分解性材料、7c バイオマス素材、
7d セルロースナノファイバー、7e 紙・パルプ
8. ソフトマテリアル
8a 液晶、8b コロイド・ラテックス、8c ゲル・エラストマー、
8d ブレンド・ミクロ相分離、8e 自己組織化
9. バイオ・メディカルマテリアル
9a 生体材料・医用高分子、9b バイオポリマー・生体分子の構造と機能

研究発表募集部門：(1)部門 A[口頭発表(討論 5 分を含んで発表時間 20 分)]

A1：一般発表、A2：優秀口頭発表賞応募者※ 1

(2)部門 P[ポスター発表]

P1：一般発表、P2：優秀ポスター発表賞応募者※ 2

※ 1 優秀口頭発表賞(A2)の応募資格は、2025 年 4 月 1 日の時点で 40 歳未満であり、正会員、または博士後期課程に在籍する学生会員の方

※ 2 優秀ポスター発表賞(P2)の応募資格は、2025 年 4 月 1 日の時点で 36 歳未満であり、博士号を持たない正会員または学生会員の方

発表申込方法と締切期日

予稿集発行日：2025.6.4(水)

※ 3 予稿原稿を投稿された時点で、その著作権は繊維学会に帰属するものとします。

- ※ 4 申込の際、繊維学会会員番号(個人正会員、学生会員の方)が必要になります。会員番号は学会誌送付用封筒に記載されております。

参加登録期間：2024.12.6(金)～2025.5.30(金)

- ※ 5 発表者は必ず、登録期間中に参加登録手続きをしてください。
- ※ 6 参加者(聴講のみでも参加登録が必要です)は、2025.5.30(金)までに必ず参加登録料の振込みを完了してください。
- ※ 7 参加登録期間以降のご登録やお支払いまたは、会場での当日登録の場合には、参加登録料が異なりますのでご注意ください。

参加登録料：

	繊維学会正会員及び、 維持・賛助会員	繊維学会 学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
事前登録	11,000 円	4,000 円	20,900 円	7,700 円
登録期間以降 または当日登録	13,000 円	6,000 円	23,100 円	9,900 円

- ※ 8 正会員・学生会員(不課税)、非会員・学生非会員(消費税込)
- ※ 9 ウェブ登録及び、参加登録料をお支払いいただきました方へは、2025.6.4(水)にメールにて「参加証」をお送りします。

参加登録料支払方法：参加者は、登録締切期限までに参加登録料を下記のいずれかの方法にてお支払いください。

なお、振込手数料は各自でご負担くださいますようお願いいたします。

登録期限以降または、当日登録の場合には、受付にて現金でお支払いください。

クレジット払いなどのご利用いただけませんので、ご注意ください。

(1)現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(加入者名)一般社団法人 繊維学会 年次大会係

(2)銀行振込：三菱 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837

(加入者名)一般社団法人繊維学会

(3)郵便振替：口座番号 00110-4-408504

(加入者名)一般社団法人繊維学会年次大会

懇親会：繊維学会 HP にて詳細をご案内しております。

その他：繊維学会は、参加者の皆さまの安全と安心を第一に「2025 年年次大会」を開催いたします。

2025 年繊維学会年次大会 実行委員会

実行委員長：道信 剛志(東京科学大学)

実行副委員長：澤田 敏樹(東京科学大学)、田中 学(東京都立大学)、中川 慎太郎(東京大学)、

森下 美由紀(日清紡テキスタイル(株))、戸木田 雅利(東京科学大学)

実行委員(順不同)：

橘 熊野(群馬大学)、土屋 康佑(東京大学)、木村 謙斗(東京農工大学)、兼橋 真二(東京農工大学)、
松田 靖弘(工学院大学)、犬束 学(早稲田大学)、入澤 寿平(岐阜大学)、宝田 亘(信州大学)、平田 豊章(福井大学)、
稲田 文(福岡教育大学)、雨宮 敏子(お茶の水女子大学)、朱 春紅(信州大学)、上谷 幸治郎(東京理科大学)、
坂元 博昭(福井大学)、後関 頼太(工学院大学)、黒川 成貴(東京科学大学)、矢澤 健二郎(信州大学)、
吉川 千晶(物質・材料研究機構)、磯辺 篤(東京科学大学)、赤坂 修一(東京科学大学)、秋岡 翔太(東京農工大学)

2025 年繊維学会年次大会

プログラム

特別講演

6月11日(水) 17:20~18:20 A 会場

[座長 道信 剛志 (科学大)]

バイオものづくり革命を牽引する…(Spiber 株式会社)関山 和秀

功績賞・学会賞・

技術賞・論文賞・奨励賞 授与式

6月12日(木) 16:00~16:30 A 会場

学会賞 受賞講演 1

6月12日(木) 16:30~17:00 A 会場

高分子電解質ブラシによる機能性表面の創出と水界面構造解析…(工学院・先進工学部)小林 元康

技術賞 受賞講演

6月12日(木) 17:00~17:30 A 会場

超臨界二酸化炭素流体を用いる精練・染色・機能加工技術の開発…(サステナテック株式会社)堀 照夫

総会

6月13日(金) 15:00~ B 会場

(※終了予定時刻は変更になる場合があります)

A 会場

6月11日(水)

繊維・高分子材料の物理

[座長 石毛 亮平 (科学大)]

10:00 1A01 異なる温度で作製したポリ乳酸ゲルの繊維構造が物性に与える影響…(工学院大・先進工)○松田靖弘, (静岡大院・工)田村海斗, 細見圭, 杉田篤史

10:20 1A02 高圧 CO₂ 下におけるポリカーボネートの応力-ひずみ挙動と構造形成…(農工大院・工)○今井小枝, 斎藤拓

10:40 1A03 膜厚方向に貫通した多孔層を周期的に有する炭素膜の作製…(岐阜大学・物質・ものづくり工学)○石原大, (岐阜大学・物質・

ものづくり工学)屋代如月, (岐阜大学・物質・ものづくり工学)内藤圭史

[座長 内藤 圭史 (岐阜大)]

11:00 1A04 全芳香族ポリイミドの液晶様ドメインの配向不均一性が熱拡散率におよぼす影響…(科学大・物質理工)○小島知大, 大山数起, 石毛亮平

11:20 1A05 高分子材料と有機化合物の分子間相互作用 50. 繊維の吸着特性を利用した識別…(福教大・教育)○稲田 文, ((株)カナ LABO)金澤 等

11:40 1A06 溶融紡糸条件の異なるカードランプロピオネート繊維における結晶化挙動の観察…(東大院・農)○加部泰三, 岩田忠久

[座長 犬束 学 (早稲田大)]

13:00 1A07 水分散液由来カーボンナノチューブ繊維の構造と物性の解析における AI 技術の活用…(産総研)○木村大輔, 田島奈緒子, 岡崎俊也, 室賀駿

13:20 1A08 光架橋性ポリイミドと PDMS のブロック共重合体が形成するナノドメイン構造の選択的架橋による熱膨張制御…(東京科学大・物質理工)○百瀬 敦都, 安藤 慎治, 石毛 亮平, (山形大院有機)松田 直樹, 東原 知哉, (JSR(株))丸山 洋一郎, 藤富 晋太郎

13:40 1A09 PS-b-P2VP 薄膜のマイクロ相分離構造と深さ依存性…(京大院・工)○板東秀輔, (京大化研)小川紘樹, (京大化研)竹中幹人

[座長 小川 紘樹 (京大)]

14:00 1A10 スーパーエンブラの積層界面における分子鎖拡散挙動…(九大院・工)○川原啓吾, (東レ)平田慎, 本間雅登, (九大・接着技研セ)阿部建樹, 山本智, (九大院・工, 九大・接着技研セ)田中敬二

14:20 1A11 電気パルス法による一方向 CFRP 積層板からの炭素繊維の分離・回収…(早大院・理工)○佐藤啓太, (早大・理工)犬束学, (早大・理工/東大・工)所千晴

14:40 1A12 ナノセルロース複合樹脂におけるレオロジー特性の解明…(阪大院・理)○信岡宏明, 浦川理, 井上正志, (森林総研)田仲玲奈

[座長 屋代 如月 (岐阜大)]

15:20 1A14 ポリマーグラフト粒子のグラフト鎖形

態とコア粒子形状…(科学大・物質理工)○渡邊悠介, 黒川成貴, 加藤新也, 坂本翔, 戸木田雅利

15:40 1A15 種々のシランカップリング処理シリカ含有SBRのコントラスト変調小角中性子散乱法による高次構造解析…(京大・化研)○中西洋平, (CERI)澤田諭, 近藤寛朗, (京大・成長戦略本部)柴田基樹, 宮崎司, (JAEA)元川竜平, 熊田高之, (CROSS)三田一樹, (名工大院・工)山本勝宏, (京大・化研)竹中幹人

16:00 1A16 ポリブチレンサクシネートの反応混練による高次構造制御と高タフネス化…(山形大院・有機)○北田佑樹, (山形大 GMAP) 小林豊, (山形大 GMAP)末次義幸, (山形大院有機・山形大 GMAP)石神明, (化学物質評価研究機構)田口浩然, (化学物質評価研究機構)菊地貴子, (山形大院有機・山形大 GMAP)伊藤浩志

[座長 犬束 学 (早稲田大)]

16:20 1A17 ポリプロピレンとグラファイト/金属界面+シラン・水分子の全原子分子動力学シミュレーション…(岐阜大・工)○屋代如月, 田仲峻真, 内藤圭史

16:40 1A18 X線による再生プラスチック材内部の構造分布評価…(京大院工)○飛田直大, 久保陽生, (京大化研)小川紘樹, (東北大 GXT)河井貴彦, (東北大院工)白須圭一, 高田昌樹, (富山環境整備)今井麻美, 新原健一

6月12日(木)

繊維・高分子材料の物理

[座長 後藤 康夫 (信大)]

9:40 2A01 単繊維直接圧縮法による炭素繊維の圧縮弾性率測定…(科学大・物質理工)田中幹, (信州大・繊維)○宝田亘, (科学大・物質理工)扇澤敏明, 塩谷正俊

10:00 2A02 酸無水物を用いたエポキシ硬化物の不均一性と力学物性…(九大院統合新領域)○春藤淳臣, (九大院工)鈴木康太郎, (九大接着技研セ)山本智, (九大院統合新領域, 九大院工, 九大接着技研セ)田中敬二

[座長 春藤 淳臣 (九大)]

10:20 2A03 PET および PVC に収着した気体の

NMR スペクトル…(名工大院・工)小村凜央, ○吉水広明

10:40 2A04 20 気圧下で気体を収着させたゴム材料のTD-NMR法による分子運動性評価…(名工大院・工)鈴木晴香, ○吉水広明

11:00 2A05 ポリスチレンに収着したメタンおよび炭酸ガスのPFG NMR法による拡散特性評価…(名工大院・工)水野愛弓, ○吉水広明

[座長 松田 靖弘 (工学院大)]

招待講演

11:20 2A06IL 双性イオン高分子水溶液の相分離による分子集合体形成…(大分大学)檜垣 勇次

[座長 中沖 隆彦 (龍谷大)]

13:20 2A08 ビスコース法および溶剤法で作製された高強度セルロース繊維の構造…(信州大繊維)山口優太, ○後藤康夫

13:40 2A09 分解酵素を混練添加したポリブチレンサクシネートの力学特性と海洋生分解性評価…(山形大院・有機)○山中朝陽, (地球環境産業技術研究機構)平賀和三, 乾将行, (山形大 GMAP)末次義幸, 小林豊, (山形大院有機)松野寿生, (山形大院有機・山形大 GMAP)伊藤浩志

14:00 2A10 オートエンコーダーを用いた熱処理PET フィルムの時分割小角 X 線散乱の解析…(東レリサーチセンター)○岡田一幸, (信州大・繊維)富澤鍊, 金慶孝, 大越豊, (京大)金谷利治

[座長 松田 靖弘 (工学院大)]

14:20 2A11 δ 型シンジオタクチックポリスチレンを用いたエタノール/アセトン混合溶液中のエタノールの取り込み…(龍谷大・先端理工)○渡辺紫陽吾, 中沖隆彦

14:40 2A12 高圧CO₂下の熱延伸によりキンク構造を形成した結晶性高分子の引張変形挙動…(東大院・工)○遠藤守琉, 江草大佑, (農工大院・工, 現ヤマハ)谷口あおい, (農工大院・工)斎藤拓, (東大院・工)阿部英司

[座長 阿部 英司 (東大)]

15:00 2A13 熱延伸ポリプロピレンの応力緩和過程における結晶高次構造の変化…(農工大院・工)○石川舞, 斎藤拓

15:20 2A14 サイズの制御されたポリ(L-乳酸)の多

孔質粒子構造の作製…(龍谷大・先端理工)○
土屋航大, 中沖隆彦

古賀優佳, (東京農工大・農)近藤哲男

B 会場

6月13日(金)

繊維・高分子材料の物理

[座長 橋本 雅人(京都工繊大)]

- 9:40 3A01 ^{13}C 固体 NMR を用いたクモ牽引糸の構造の解明…(農工大院工)○朝倉哲郎, 内藤晶
10:00 3A02 ポリ乳酸の結晶化プロセス…(山形大院・有機)○松葉豪

[座長 松葉 豪(山形大)]

- 10:20 3A03 高分子球晶の融解・再結晶化過程に生成するモルフォロジー…(京工繊大・工科)大津理桜, 新村優太, (京工繊大・材化)○橋本雅人, 水口朋子, 藤原進
10:40 3A04 ポリエチレンオキシド薄膜の融解挙動と界面分子配向…(早稲田大・WCANS)○犬束学, (産総研)渡邊宏臣, 青柳将, (神奈川大・工)丸山祐亮, 佐藤大輝, 池原飛之
11:00 3A05 ブロック共重合体ブレンド系における三重周期極小局面を持つ相分離構造三姉妹…(名工大)○山本勝宏, 高井裕介, (KEK)高木秀彰

[座長 山本 勝宏(名工大)]

- 11:20 3A06 PMMA のガラス転移温度の立体規則性依存性に関する分子動力的検討…(東京科学大・物質理工)○久保山敬一, 扇澤敏明
11:40 3A07 直鎖状ポリエチレンに環状ポリエチレンを添加したときの核生成に及ぼす影響…(岡山大・環境生命自然)山本歩奈, 小林慧子, 新 史紀, ○山崎慎一, 木村邦生

[座長 丸林 弘典(京都工繊大)]

- 13:00 3A08 超高分子量ポリエチレン溶融延伸試料の昇温過程における相転移・融解挙動…(群馬大院・理工)○攪上将規, 高澤彩香, 上原宏樹

[座長 攪上 将規(群馬大)]

- 13:20 3A09 ポリエチレンフラノエートの結晶階層構造と物性の関係…(京工繊大院・工芸科学)○丸林弘典, 天埜耕太朗, (滋賀県大・工)竹下宏樹
13:40 3A10 光学異方性セルロースゲルのネットワーク構造と粘弾性…(九大院・農)○巽 大輔,

6月11日(水)

ソフトマテリアル

[座長 中川 慎太郎(東大)]

- 10:00 1B01 側鎖にメソゲンを有するポリ置換メチレン…(科学大・物質理工)○三枝悠馬, 清浦正道, 黒川成貴, 戸木田雅利
10:20 1B02 光学活性脱離基を有する液晶性前駆体から調製したポリイミドに保存されるキラリティ…(東京科学大・物質理工)○山本皐大, 石毛亮平, (阪工大院・工)森居駿介, 坂井飛成, 平井智康
10:40 1B03 マイクロビーム広角 X 線回折マッピングによる加硫天然ゴムシートの等二軸伸長での斜め 45 度亀裂先端におけるひずみ誘起結晶化状態の解析…(京工繊大院・工芸科学)○今井一希, 丈達優希, 岡本匠永, (SPring-8)増永啓康, ((株)ブリヂストン)北村祐二, 角田克彦, (京大院・工)浦山健治, (京工繊大)櫻井伸一

[座長 戸木田 雅利(科学大)]

- 11:00 1B04 伸長中のエラストマー内部の水素結合架橋の挙動…(東大生研)○田島怜奈, (産総研)新澤英之, (東大生研)中川慎太郎, 吉江尚子
11:20 1B05 含フッ素光架橋性末端基を導入した液晶性ポリイミド前駆体の垂直配向制御…(東工大・物質理工)○大山数起, 原昇平, 石毛亮平

- 11:40 1B06 セルロース系ボトルブラシ LB 膜上における液晶配向特性…(京大・化研)○吉海俊哉, 黄瀬雄司, 辻井敬亘, (東京理科大・経営)佐藤治

[座長 後関 頼太(工学院大)]

招待講演

- 13:00 1B07IL ジャイロイド構造を有する高分子膜の創成と機能開拓…(東京農工大学)一川 尚広
13:40 1B09 架橋非晶鎖が両端に結合した主鎖型ネマチック液晶ポリエステルのミクロ相分離構造と伸縮挙動…(科学大・物質理工)○根本開, 鈴木亮之, 黒川成貴, 戸木田雅利

[座長 石毛 亮平 (科学大)]

14:00 1B10 圧力可塑性ブロック共重合体の化学構造と低温流動の相関…(京都工繊大院・工芸)○清水裕太郎, 谷口育雄

14:20 1B11 Baroplastics as plasticizers for poly (L-Lactide)…(KIT)○Neha Sharma, (Kyoto University)Tsuyoshi Koga, (JAMSTEC) Shigeru Deguchi, (KIT)Ikuo Taniguchi

14:40 1B12 カゴ型シルセスキオキサン含有高分子を利用した円偏光発光材料開発…(阪工大院・工)○森居駿介, (阪工大・工)中村吉伸, 藤井秀司, 平井智康

[座長 黒川 成貴 (科学大)]

招待講演

15:20 1B14IL その場重合によるブロック共重合体のユニークな自己組織化…(大阪大学)高橋 倫太郎

[座長 平井 智康 (阪工大)]

16:00 1B16 オリゴエチレン側鎖を有するシンジオタクチックポリ置換メチレンのリオトロピック液晶挙動…(科学大・物質理工)○川口彩夏, 黒川成貴, 清浦正道, 加藤新也, 渡邊悠介, 戸木田雅利

16:20 1B17 水溶性リオトロピック液晶性前駆体から調製したポリベンゾオキサゾール配向膜の構造解析…(東京科学大・物質理工)○天田天, 石毛亮平

16:40 1B18 メトキシアルキル側鎖を有するシンジオタクチックポリ置換メチレンの構造と抗血栓性…(科学大・物質理工)○黒川成貴, 中村由紀菜, 清浦正道, 戸木田雅利

6月12日(木)

繊維・高分子材料の創製

[座長 松本 和也 (秋田大)]

9:40 2B01 分岐アルキル側鎖を有する非フラーレン型アクセプターポリマーの合成…(東京科学大・物質理工)○高橋胡秋, 蓬田直正, 磯辺篤, 道信剛志

10:00 2B02 ヘミメリット酸をモノマーとするポリアミドイミドの無色透明化に向けた構造検討…(秋田大院・理工)○渡辺圭尚, 松本和也, 寺境光俊

10:20 2B03 触媒移動重縮合を用いたハイパーブランチポリフェニレンの分子量制御…(秋田大院・理工)○眞弓湧作, 寺境光俊, 松本和也

10:40 2B04 PEG-ペプチドハイブリッド環状化合物の合成…(東大院・工)○中村悠希, 土屋康佑, 酒井崇匡

[座長 河村 暁文 (関西大)]

11:00 2B05 溶液結晶化による高結晶性ポリイミドナノファイバーの作製および高熱伝導性複合体フィルムへの応用…(岡大院・自然1, ウィンゴーテクノロジー2)○二宮良太1, 松島智士2, 五島敏之2, 木村尚敬1, 内田哲也1

11:20 2B06 計算化学を用いた新世代溶媒による放射線グラフト重合への洞察…(群馬大院・理工)○松原希宝, 覚知亮平, (量研機構・高崎)大道正明, 瀬古典明, (阪南大・経営情報)松田健, (福工大・情報工)高橋啓

11:40 2B07 銅チオラートからなる繊維状配位高分子の構築と無機繊維材料への変換…(名工大・工)○江口裕, 埜多家貴子, 永田謙二

[座長 覚知 亮平 (群馬大)]

13:20 2B08 撥油性を示す双性イオン構造を有する脂肪族ポリエステル合成…(関西大・化学生命工)○河村暁文, 川口莉佳, 宮田隆志

13:40 2B09 ジカルボン酸クロリドをモノマーとした超強酸中における Friedel-Crafts 非等モル重縮合…(秋田大院・理工)○松本和也, 吉田靖大, 寺境光俊

14:00 2B10 分子内エステル交換を利用したアクリルポリマーの主鎖切断とUV硬化型解体性接着剤への応用…(信州大繊維)川村悠人, (JST さきがけ)外山果歩, (信州大繊維, JST さきがけ)○高坂泰弘

14:20 2B11 廃棄硫黄を原料とした硫黄含有ポリマーの合成とその特性…(阪大院理)○小林裕一郎, 山口浩靖

[座長 土屋 康佑 (東大)]

招待講演

14:40 2B12IL 両親媒性ランダム/交互共重合体の自己組織化と材料創製…(京都大学)寺島 崇矢

6月13日(金)

繊維・高分子材料の創製

[座長 橘熊野(群馬大)]

10:20 3B03 AB₂型モノマーとの共重合がポリ(p-オキシベンゾイル)微粒子の形状に与える影響…(岡山大・環境生命自然)○新 史紀, 北川朋樹, 山崎慎一, 木村邦生

10:40 3B04 N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再検討 104-Nature 掲載の2報文の否定…((株)カナ LABO)○金澤 等, (福岡教育大・家政)稲田 文

11:00 3B05 N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再検討 105: 第二級アミン開始重合機構の決定…((株)カナ LABO)○金澤 等, (福岡教育大・家政)稲田 文

[座長 新史紀(岡山大)]

11:20 3B06 トリヨードフェニル誘導体の化学変換と高分子化…(信州大・繊維科学研)○大川浩作

11:40 3B07 全芳香族高分子へのビフラン骨格の導入…(群大・院理工, 食健セ)○橘熊野, (群大・院理工)牧子流星, (群大・院理工)濱地哉瑠, (群大・院理工, 食健セ)粕谷健一

C 会場

6月11日(水)

染色・機能加工・洗浄

[座長 中根幸治(福井大)]

13:00 1C07 光塩基発生剤を添加したコロイド結晶の紫外線照射による粒子配列変化に及ぼす液性の効果と光重合によるゲル内への結晶構造の固定化…(福井大院・工)○東一花, 田畑功, 廣垣和正

13:20 1C08 綿繊維の反応分散染料を用いた超臨界流体染色における有機塩基及び水添加効果…(福井大院・工)○永井杏侑, REN JIANHUA, 田畑功, 堀照夫, 廣垣和正

13:40 1C09 ポリエステル染色布の超臨界流体脱色における共溶媒添加効果…(福井大院・工)○廣垣和正, 辻優香子, Ren Jianhua, 田畑功, 堀照夫

[座長 久田研次(福井大)]

14:00 1C10 電子レンジを用いた反応染料の染色条

件の検討 2 浸染と捺染の染色条件…(福教大・教育)○稲田 文, ((株)カナ LABO)金澤 等

14:20 1C11 羊毛繊維の酸性媒染染色におけるクロムによる後媒染機構…(和洋女子大学・家政)○桑原里実

[座長 平田豊章(福井大)]

15:20 1C14 デイスペンサを用いた繊維染色ービルドアップ特性から見た特徴…○野口弘道

15:40 1C15 Construction of Mesoporous Channels in Electrospun Bi-MOF/Polymer Composite Fiber Membrane for Enhanced Arsenate Removal from Water…(福井大院・工)○QIN HENGJIE, 中根幸治, (西安石油大)Lv Ying

16:00 1C16 ポリアクリル酸による反毛綿の表面処理…(信州大院・繊維)○長瀬峻, 平田尚, 宇佐美久尚, (hap(株))鈴木素

[座長 宇佐美久尚(信大)]

16:20 1C17 光塩基発生剤による PET フィラメント表面の活性化と高分子電解質多層膜積層…(福井大・工)渡辺銀雅, 平田豊章, ○久田研次, ((株)アントンパール・ジャパン)中野祐樹

16:40 1C18 異種高分子間のナノスケールの機械的接着における接着界面の凝集状態…(福井大院・工)○平田豊章, (福井大・工)島田海星, 池田侑生, (福井大院・工)勝又幹仁, (KEK)山田悟史, (福井大院・工)久田研次

6月12日(木)

染色・機能加工・洗浄

[座長 稲田 文(福岡教育大)]

招待講演

9:40 2C01IL 最近の衣料用洗剤・仕上げ剤の動向…(日本石鹼洗剤工業会)野村 昌史

[座長 廣垣和正(福井大)]

10:20 2C03 汗中の乳酸に応答して図柄が多彩に変化する布地の創製…(北見工大)○兼清泰正, 堺絵美

10:40 2C04 クレイ吸着層による PET 繊維の表面改質と汚れの吸着、洗浄能力評価…(信州大院・繊維)○渡邊光敬, 宇佐美久尚, (hap(株))鈴木素

テキスタイルサイエンス

[座長 朱春紅 (信大)]

招待講演

13:20 2C08IL 消臭抗菌抗アレルギー繊維の医療介護分野への応用…(大妻女子大学)水谷 千代美

[座長 雨宮 敏子 (お茶女大)]

14:00 2C10 安全靴の運動機能性評価…(文化学園大・服装)○伊豆南緒美, 平岡里奈子, 佐藤真理子

14:20 2C11 ニードルパンチ不織布の強度にPET/PVB 芯鞘複合繊維の混織と熱融着がおよぼす効果…(信州大・繊維)○冨澤錬, 鈴木汰周, 金慶孝, 大越豊

14:40 2C12 編地の形態的特徴に対する編成条件の影響…(文化学園大・服装)○柚本玲

15:00 2C13 ジクロロメタン／エタノール混合溶液処理で収縮させたポリ乳酸繊維糸の広角X線回析測定…(東京家政学院大)○花田朋美, 安藤穰

6月13日(金)

テキスタイルサイエンス

[座長 井上 真理 (神戸大)]

9:40 3C01 エコ消費の中で求められる衣類の特徴…(神戸学院大・経営)○辻幸恵

10:00 3C02 サステナブルファッション製品の風合いが消費者の購入意欲に及ぼす影響…(信州大・繊維)○平田慈英, (信州大・IFES)金晃屋, (早稲田大・WCANS)天沢逸里

10:20 3C03 寝床内温湿度が温熱快適感および睡眠に及ぼす影響…(信州大・繊維)○川阪明彦, 上野貴之, 丸弘樹, 金井博幸

[座長 丸弘樹 (信州大)]

10:40 3C04 綿タオルの吸水性における水分移動特性評価…(信州大学)○上條正義, 羽鳥由衣, 吉田宏昭, 北島暉己, (近藤紡績所)川上正敏, (ホットマン)坂本将之

11:00 3C05 綿タオルとマイクロファイバータオルの摩擦特性とキューティクルに与えるダメージ…(伊澤タオル)○今西優奈, 関谷彩佳, 伊澤正司, (信州大・繊維)木村裕和, (京女大・家政)坂口明男

[座長 花田 朋美 (東京家政学院大)]

11:20 3C06 吸水製品トップシートの3Dエンボス形状の違いによる物性と官能評価…(東京家政大・家政)○濱田仁美, 江添ことみ, 加藤里奈, 鈴木里奈

11:40 3C07 イオン液体で膨潤したレーヨンとラミナーの構造・物性比較…(共立女子大・家政)○村瀬浩貴, 薄井杏実, 河村佑亜, 高橋怜愛, 吉田愛里, 安藤美沙子, (東洋紡・総研)船城健一

[座長 村瀬 浩貴 (共立女子大)]

13:00 3C08 スマートテキスタイルに用いる導電糸の物理特性と耐久性能…(神戸大院・人間発達環境学)○井上真理, 南里奈, (東大院・情報理工)前田郷司

13:20 3C09 Method for Preparing Conductive Ultra-Fluffy Fibers via Coaxial Wet Spinning…(信州大・総合理工)○CHEN ZIWEI, (信州大・IFES)朱春紅, (信州大・繊維)森川英明

13:40 3C10 Research on the Preparation of Flexible Conductive Bio-Based Aerogel and Its Applications for Multifunctional Sensing…(信州大・総合理工)○Dandan XIE, (信州大・IFES)朱春紅, (信州大・繊維)森川英明

D会場

6月11日(水)

バイオ・メディカルマテリアル

[座長 濱 理佳子 (農研機構)]

10:00 1D01 PLA コーティングしたLPSO型Mg合金ワイヤーを用いた脳動脈瘤治療用生体吸収性フローダイバーターの開発…(京工織大院・工芸)○八木伸一, 櫻井伸一, (東邦金属)津田泰志, (福田金属箔)石田峰央, (熊大・工)井上晋一, 河村能人, (早稲田大・創造理工)岩崎清隆, (京大院・医)秋山亮, 松川爽, 千原英夫, (順天堂大・医)西秀久, 石井暁

10:20 1D02 表面パターンニング特性を有する光応答性高分子フィルム上での細胞接着挙動…(関西大・化学生命工, 関西大・ORDIST)○宮田隆志, (関西大・化学生命工)野口貴史, 東野美玲, 小村谷準, (関西大・化学生命工, 関西大・ORDIST)河村暁文

[座長 宮田 隆志 (関西大)]

10:40 1D03 Cleavable Peptides for the detection of bacterial organisms in biological systems…(物質・材料研究機構)○Gabriel Tai Huynh, 吉川千晶

11:00 1D04 吸収性インプラント創出を目指したシルク材料の特性評価…(信州大・繊維)○橋本朋子, 小林優月, 玉田靖

[座長 矢澤 健二郎 (信大)]

招待講演

11:20 1D05IL シルクゲルの分解吸収性促進と癒着防止吸収性バリアとしての応用…(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構) 神戸 裕介

[座長 八木 伸一 (京都工繊大)]

13:00 1D07 複合・混紡繊維からのポリアミド分離と酵素的モノマー化…(鹿大院・理工)○白石雄樹, 加藤太郎, 横山理沙, 古野洋子, (兵県大院・工)根来誠司

13:20 1D08 組織再生誘導に適したホーネットシルク素材化技術の開発: 日本三大スズメバチの比較によるアプローチ…(農研機構)○濱理佳子, 神戸裕介, 吉岡太陽, 亀田恒徳

[座長 橋本 朋子 (信大)]

13:40 1D09 硫酸化セルロースナノファイバー基材上でのヒト間葉系幹細胞の培養挙動…(九大院・農)○畠山真由美, 甲斐理智, 榊原愛, 北岡卓也

14:00 1D10 ポリエチレンフィルム表面に光電変換色素を結合した人工網膜の光誘起表面電位測定による耐久性評価…(岡大院・自然)○岡昂平, Sheikh Md Chanmiya, 木村尚敬, 内田哲也

6月12日(木)

繊維・高分子材料の機能

[座長 兼橋 真二 (農工大)]

9:40 2D01 TEMPO 酸化前後のセルロースナノファイバーを含むフッ素樹脂系複合材フィルムの構造と物性…(埼玉大院・理工)○奈良 知叡, Rokibul Hasan Rumon, 藤森 厚裕

10:00 2D02 全フッ素化結晶性高分子を単分子層化する技法ー有機溶媒不使用のテフロン系高分

子L膜化ー…(埼玉大院・理工)○藤井一輝, 照井 綾真, 藤森 厚裕

10:20 2D03 長鎖ジイン酸修飾紫外線散乱性ナノ粒子の単層膜化と積層による構造色発現と色相転移…(埼玉大院・理工)○坂本 将真, 中田 遼真, 藤森 厚裕

[座長 黄瀬 雄司 (京大)]

10:40 2D04 イオン交換基構造の異なるアニオン伝導性高分子の合成と水電解用電解質膜への応用…(都立大院・都市環境)○日高優美, 小山 修平, 奈良悠里, 川上浩良, 田中学

11:00 2D05 長期作動を可能とする不揮発性イオン液体を用いた亜鉛空気二次電池用ゲル電解質の開発…(都立大院・都市環境)○桑原康太, 藤橋亮乃, (ケンブリッジ大・化)Benjamin Rhodes, Alexander C. Forse, (都立大院・都市環境)川上浩良, 田中学

11:20 2D06 ポリカーボネート型固体高分子電解質の黒鉛負極との適合性に関する研究…(農工大院・工)○木村謙斗, (農工大院・GIR)スーントーンノン・ナンタパット, (農工大院・BASE)武井奈菜, 富永洋一

[座長 木村 謙斗 (農工大)]

招待講演

13:20 2D08IL TEMPO 酸化技術を用いたセルロース材料の高機能化ーCNFの塗料、インク、セラミックス、化粧品用途への実用化と熱可塑・難燃材料への展開ー…(第一工業製薬株式会社)後居 洋介

14:00 2D10 超臨界発泡によるチオフェン系ブロック共重合体の構造変化…(農工大院・BASE)○荻野賢司, 鈴木那菜

14:20 2D11 ブラシ繊維回転摩擦帯電技術による自己発電型センサーの開発…(福井大学院・工)○大橋昌弥, DUO HAO, (福井大学)坂元博昭, (榎屋ティスコ(株))小松丈紘, 橋田洋平, 太田敏彰

[座長 田中 学 (都立大)]

14:40 2D12 超臨界二酸化炭素処理による酢酸セルロースの冷結晶化と構造変化…(農工大院・工)○南部伸洋, 兼橋真二

15:00 2D13 コンビナトリアル計測による濃厚ポリマーブラシの摩耗機構の検討…(京大化研)○

後藤治輝, 黄瀬雄司, 辻井敬亘, (横工大・環境情報)鍵渡創生, 竹内徹, 大久保光, 中野健

6月13日(金)

成形・加工・紡糸

[座長 入澤 寿平 (岐阜大)]

招待講演

10:00 3D02IL 炭素繊維産業の軌跡と挑戦…(東レ株式会社)田中 文彦

10:40 3D04 Formation of polyvinyl alcohol nanofibers by spray-freeze-drying technique…(福井大院・工)○Razzaque Abdur, 中根幸治

11:00 3D05 X線による繊維構造解析の新展開-リサイクルのための選別技術の開発2-…(茨大工)○小泉智

11:20 3D06 環境配慮型ポリロタキサン含有ビトリマーを用いた炭素繊維複合材料の作製…(東大院新領域 1, 物材機構 2)○安藤翔太 1,2, 平野聖来 1, 上野瑛理 1,2, 内藤公喜 2, 伊藤耕三 1,2

E 会場

6月11日(水)

天然繊維・生体高分子

[座長 坂元 博昭 (福井大学)]

10:00 1E01 パラミロンアセテートヘキサノエート混合エステル溶液の溶融紡糸および繊維物性評価…(東大院・農/YKK(株))○頓所美咲, (YKK(株))水林舞, (東大院・農)加部泰三, 榎本有希子, 岩田忠久

10:20 1E02 二重結晶ブレンド法による自己強化キチン複合体の構築と細胞接着特性の発現…(鹿児島大院・理工)○戸谷 匡康, 谷畑 優子, 江木 優介, 新地 浩之, 門川 淳一

10:40 1E03 高度に膨潤した繊維形態を持つ触媒酸化セルロースパルプの合成とシート特性…(岡山大院・環生自/丸住製紙)○西村朱十, (丸住製紙)杉野通誉, (岡山大院・環生自)内田哲也

11:00 1E04 Preparation and characterization of jute cellulose nanocrystals…(福井大院・工)○

Sheikh Shamsuzzaman, 廣垣和正, 入江聡, 中根幸治

[座長 石井 大輔 (東農大)]

11:20 1E05 セルロースナノファイバー被覆モノリス粒子の表面及び内部の構造制御…(京大化研)○岸田隆希, 石田紘一朗, 辻井敬亘

11:40 1E06 再生紙からなる高強度材料創製に向けた原料の配合割合と成型圧力の検討…(愛工大院・工)○舟橋隆浩, (愛工大・工)浅田大斗, 太田英伸

[座長 内田 哲也 (岡山大)]

13:00 1E07 酵素内包生分解性プラスチックの分解性に対する酵素の PEG 被覆の影響…(東大院・農)○廣瀬賢人, 黄秋源, 木村聡, 昔鎮浩, 岩田忠久

13:20 1E08 ポリ(3-ヒドロキシブチレート-co-3-ヒドロキシヘキサノエート)ゲルの融解挙動と高次構造…(龍谷大院・先端理工)○北村卓也, 中沖隆彦

13:40 1E09 R. eutropha による混合炭素源を用いた生合成と優先的に代謝される炭素源の検討…(龍谷大院・先端理工)○廣田真優, 中沖隆彦

14:00 1E10 溶融紡糸法によるポリカプロラクトン繊維の作製とその生分解性制御…(東大院・農)○谷本あすか, 加部泰三, 岩田忠久

[座長 青木 隆史 (京都工繊大)]

招待講演

14:20 1E11IL 多変量解析と機械学習による酸化還元酵素の分子設計…(福井大学)高村 映一郎

[座長 太田 英伸 (愛工大)]

15:20 1E14 パラミロントリアセテート繊維の溶媒アニーリングによる物性向上…(東大院・農)○野口 俊梧, 加部 泰三, 岩田 忠久

15:40 1E15 グルコース酸化物で着色したゼラチンゲルのゲル物性…(大阪技術研)○大江猛, 吉村由利香

16:00 1E16 イオン液体中でのキチンの効率的エーテル化反応の開発…(鹿児島大院・理工)○門川淳一, 重信佑樹, 戸谷匡康

[座長 門川 淳一 (鹿児島大)]

16:20 1E17 Environmental Degradation Behaviors of Polyamide 4/6 Copolymer Fibers…(九大・

K-NETs) ○An Yingjun, Padermshoke
Adchara, Takahara Atsushi, (Kureha)
Mokudai Haruki, Masaki Takashi, (KIT)
Sasaki Sono, (JASRI) Masunaga Hiroyasu

16:40 1E18 新規に単離した P(3HB)分解菌による
P(3HB)生分解におけるフェルラ酸・グリコ
ール酸共重合ポリエステル添加の影響…(東
京農大・院生命)鶴賀茉友, (東京農大・地域)
瀬山智子, (東京農大・生命)金井雅武, 正木
春彦, ○石井大輔

F 会場

6月12日(木)

天然繊維・生体高分子

[座長 上谷 幸治郎 (東理大)]

9:40 2F01 色素吸着法によるナノセルロース表面カ
ルボキシ基定量に用いる色素の種類および精
製の有無が及ぼす影響…(信州大繊維)○荒木
潤

10:00 2F02 鶏冠ゲル：ニワトリの“鶏冠”から得られ
る新素材…(宮崎大・工)○井澤浩則, 長谷部
智大, 中居聖貴

招待講演

10:20 2F03IL 深海プラスチック汚染の現状と海に
やさしい素材の開発…(国立研究開発法人 海
洋研究開発機構)磯部 紀之

[座長 井澤 浩則 (宮崎大)]

14:20 2F11 微生物産生ポリエステル共重合体に対
するホモポリマーの添加による迅速なポーラ
ス繊維の作製…(東大院・農)○加部泰三, 豊
崎 晃平, 岩田忠久

14:40 2F12 近赤外分光画像システムによるヒト頭
髪部を対象とした診断システムの開発…(ク
ラシエ(株)ビューティケア研究所)○磯辺 真
人, (弘前大院・医)玉田 嘉紀, 三上 達也,
(弘前大・健康未来イノベーション研究機構)
村下 公一, (弘前大院・医)中路 重之

15:00 2F13 セルロースナノファイバー加工繊維の
精密解析…(山形大・院有機)山路彩花, ○松
葉豪, (東北整練)相田秀美, (山形県工技セ)
千葉一生, 数馬杏子, 平田充弘, 大津加慎教

15:20 2F14 フィブロインフィルムの表面構造の検
討…(京都工芸繊維大学・繊維学系)○青木隆

史, 岡久陽子, (京都産業大学・文化学部)成
田智恵子

P 会場

ポスターセッション

obligation time

奨励賞受賞内容紹介 1

金属チオラートからなる繊維状配位高分子の構
築…(名古屋工業大学) 江口 裕

奨励賞受賞内容紹介 2

配向結晶化挙動の定量解析から推定したポリエ
ステル繊維の強度発現メカニズムに関する研究
…(信州大学) 冨澤 鍊

6月11日(水)

11:00~12:00

繊維・高分子材料の物理

1Pa01 単層カーボンナノチューブに起因する補強効
果と粘弾性挙動…(阪大院・理)○信岡宏明,
浦川理, 井上正志

1Pa02 酢酸セルロースの結晶構造解析…(山形大院
有機)○山田大輝, 松葉豪, (ダイセル)小林
慧子, 樋口暁浩

1Pa03 屋外暴露した射出成形ポリプロピレンの表面
観察および構造解析…(山形大院・有機)○倉
橋梨花子, 松葉豪, (九州大・水素材料先端
科学研究センター)栗山卓

1Pa04 ナノポアを持つシンジオタクチックポリスチ
レンを用いた1プロパノール水溶液の取り込
みの濃度依存性およびメカニズム…(龍谷
大・先端理工)○藤原大暉, 中沖隆彦

1Pa05 ゲルの架橋剤比率がバルク及び表面に及ぼす
影響…(農工大院・工)○陽田樹, (芝浦工
大・工)廣井卓思, (農工大院・工)赤木友紀

1Pa06 PLLA/PDLA/LDPE ブレンドの構造と物性
に及ぼすステレオコンプレックス結晶の影響
…(東京科学大・物質理工)○根本尚輝, 赤坂
修一, 浅井茂雄

1Pa07 生分解性ポリエステル薄膜のナノ構造に与え
る海水浸漬処理の影響…(京工繊大院・工芸
科学)○辻七奈, 大榎旺杜, 嶋川景斗, 宮嶋

琉, (京工織大院・繊維)Khuat Thi Khanh Van, (JASRI/SPring-8)増永啓康, (九大 K-NETs)インジュンアン, 高原淳, (京工織大院・繊維, RIKEN SPring-8 センター)佐々木園

1Pa08 生分解性ポリ(3-ヒドロキシブチレート)/1-ヘキサノールのゲル化と融解挙動および高次構造…(龍谷大・先端理工)○新井涼太, 中沖隆彦

1Pa09 PLLA/PDLA/HDPE 三元系非相溶ポリマーブレンドの相構造と物性の関係…(東工大・物質理工)○韓欽然, 赤坂修一, 浅井茂雄

1Pa10 PMEASilica エラストマーの「J 型」伸長挙動のメカニズム解明…(名大院・工)○伊藤香凜, 坂本萌, 竹岡敬和, (京大院・工)野崎大地, 徳留悠樹, 浦山健治

1Pa11 サケ白子由来 DNA 繊維の一軸伸長時の構造変化…(信州大・繊維)○中村颯斗, 矢澤健二郎

1Pa12 気相成長炭素繊維充填 PLLA/PDLA/HDPE 複合材料における PTC 発現のメカニズムに関する研究…(東京科学大学・物質理工)○江良季樹, 赤坂修一, 浅井茂雄

1Pa13 エポキシ樹脂/短炭素繊維/多層カーボンナノチューブ複合材料の形状記憶特性…(名工大院・工)○舟橋佑介, 信川省吾, 猪股克弘

1Pa14 リング状結晶作製に向けたポリ乳酸球晶の構造解析…(山形大院・有機)○竹之内康晴, 松葉豪, (京大院・工)西田幸次, 古谷勉

1Pa15 個別の繊維直径に準じた試験条件を設定することによる PAN 系炭素繊維の直径と到達可能強度の関係の明確化…(信州大・繊維)○村上達郎, 宝田亘, 金慶孝, 大越豊

1Pa16 添加剤を加えた粘着剤の物性評価…(山形大院・有機)○直井優太, 南地実, 田中陸人, 松葉豪

1Pa17 セルロースナノファイバー存在下で溶液結晶化したポリアミド 6 の結晶成長機構の解明と複合体への応用…(岡山大院・自然)○上田圭佑, 木村尚敬, 内田哲也

1Pa18 ポリ酢酸/セルロースナノファイバー複合体中の分子鎖熱運動と界面相互作用の関係…(福井大・工)○安本匠太郎, 村中良輔,

(福井大院・工)平田豊章, 久田研次

1Pa19 ナノファイバー不織布の繊維径が及ぼす音の伝播特性への影響…(東京科学大・物質理工)○吉田朋純, 赤坂修一, 浅井茂雄

成形・加工・紡糸

1Pa20 紡糸液のポリマー濃度が溶液紡糸ポリ塩化ビニル繊維の物性・構造に及ぼす影響…(信州大院・繊維)○池田呈翔, 中澤優人, 中嶋和奏, 後藤康夫

1Pa21 相溶化剤の添加が Polylactic acid/Thermoplastic starch 繊維の構造および物性に及ぼす影響…(信州大学・繊維)○岡本凌, 斉木勇太, 間美羽, 菅原昂亮, 伊香賀敏文, 富澤鍊, 宝田亘, 金慶孝, (IFES)大越豊, (大阪ガス)大西亜維良

1Pa22 Nylon/Polypropylene 混織メルトブロー不織布の構造および物性…(信州大・繊維)○井上健介, 菅原昂亮, 伊香賀敏文, 富澤鍊, 宝田亘, 金慶孝, (IFES)大越豊, (エム・エーライフマテリアルズ)江口大樹, 吉田茉莉子, 横山哲也, 松原暁雄

1Pa23 絡まりの強いカーボンナノチューブ原料の粗解繊…(信州大院・繊維)○熊谷駿介, 後藤康夫, (トヨタ自動車)國友 晃, 佐久間紀次

1Pa24 リサイクルポリプロピレン/ガラス繊維の劣化挙動と高次構造および物性の相関…(山形大院・有機)○小林熙, (山形大 GMAP)大槻安彦, 小林豊, (山形大院・有機)西辻祥太郎, 松野寿生, (山形大院有機・山形大 GMAP)伊藤浩志

1Pa25 イオン液体を用いた再生セルロースフィルムの創成に関する研究…(京工織大院・工芸)○紫合慶亮, 井野晴洋, 山田和志

1Pa26 エレクトロスピンングを利用した PTFE フィルム表面ナノ構造の制御…(福井大院・工)○長谷川千紗, (ダイキンファインティック)塚本忠和, 川戸進, (福井大学・工)宮島浩樹, 藤田聡

1Pa27 温度応答性ゲルによる微細なしわ構造の作製…(農工大院・生物システム応用科学)○安東暦, 赤木友紀, (東大院・工)島田啓太郎, 東航平, 中川桂一

- 1Pa28 マテリアルズ・インフォマティクスを用いた
ナノファイバー作製条件の最適化…(京工織
大院・工芸)○中尾圭吾, (京工織大・材化)
木梨憲司, (京工織大)堤直人
- 1Pa29 高熱伝導性・耐熱性剛直高分子ナノファイバ
ーの作製と熱処理による結晶性の向上…(岡
山大院・自然)○原田悠汰, 木村尚敬, 内田
哲也
- 1Pa30 全芳香族液晶ポリエステル射出成形品ウェル
ド部のダイレクター配向解析…(科学大・物
質理工)○橋本大希, 渡邊悠介, 戸木田雅利,
(株式会社 ENEOS マテリアル)鷺野豪介
- 1Pa31 レーザー加熱電界紡糸による多孔性ポリカー
ボネート発泡極細繊維の作製…(横国大院・
環境情報)○田邊 凌, (横国大院・環境情報)
高崎 緑, 阿部正浩, (東京科学大学新産業創
成研究院)鞠谷雄士

12:40~13:40

繊維・高分子材料の物理

- 1Pb01 単層カーボンナノチューブ分散液のレオロ
ジー挙動…(阪大院・理)○信岡宏明, 浦川
理, 井上正志
- 1Pb02 ポリアミド 4 繊維の力学物性の改善を目的
とした過熱水蒸気の利用…(信州大・繊維)○
長崎結衣, 後藤康夫
- 1Pb03 アラミド繊維の疲労破壊と引張弾性率の関
係…(京工織大院・工)齋藤颯太, ○山本紗
羅, 野崎友実, 細川泰輝, 田中克史, 小林治
樹
- 1Pb04 ポリフェニレンサルファイド繊維の引張変
形中における階層構造変化…(信州大学・繊
維)○佐野緑, 谷本悠紀, 伊香賀敏文, 金慶
孝, 大越豊, 富澤鍊, (東レ・繊維研究所)前
川茂俊, 勝田大士, (東レリサーチセンター)
岡田一幸, (京都大学)金谷利治
- 1Pb05 poly(ethylene terephthalate)繊維引張時の
USAXS 像変化におよぼす分子量の影響…(信
州大学・繊維)○川上玄, 大谷颯生, 谷本悠
紀, 伊香賀敏文, 金慶孝, 大越豊, 富澤鍊,
(東レ・繊維研究所)前川茂俊, 勝田大士,
(東レリサーチセンター)岡田一幸, (京都大
学)金谷利治
- 1Pb06 クチナーゼによるポリ(ϵ -カプロラクトン)
の表面分解挙動…(山形大院・有機)○工藤
淳, (RITE)清水 哲, 平賀和三, 乾 将行,
(山形大院・有機/山形大・GMAP)伊藤浩
志, (山形大院・有機)松野寿生
- 1Pb07 海洋分解性ポリエステル薄膜の脱濡れ過程
で同時進行する溶融等温結晶化キネティクス
…(京工織大院・工芸科学)○宮嶋琉, 辻七
奈, 大榎旺杜, 嶋川景斗, (京工織大院・繊
維)Khuat Thi Khanh Van, (JASRI・SPring-
8)増永啓康, (京工織大院・繊維, RIKEN・
SPring-8 センター)佐々木園
- 1Pb08 Comparison between Poly (l-lactic acid)
Homopolymer and Poly (d,l-lactic acid)
Blend Thin Films in Nanostructure Change
by Seawater Immersion Treatments at High
Water Pressures…(京工織大院・繊維)○
Khuat Thi Khanh Van, (京工織大院・工芸科
学)宮嶋琉, 辻七奈, 大榎旺杜, 嶋川景斗,
(JASRI・SPring-8)増永啓康, (京工織大院・
繊維, RIKEN・SPring-8 センター)佐々木園
- 1Pb09 ポリパラフェニレンテレフタルアミド繊維
の疲労破壊現象…(京工織大院・工)○宮田桐
吾, 細川泰輝, 田中克史, 小林治樹
- 1Pb10 イオン伝導性高分子ブレンドの構造と物性
に与える重合条件の影響…(東工大・物質理
工)○山本峻吾, 赤坂修一, 浅井茂雄
- 1Pb11 ナノ触診原子間力顕微鏡を用いた HDPE の
伸長変形挙動に関する研究…(東京科学大・
物質理工)○八木皓太, 伊藤 万喜子, 梁 曉
斌, 中嶋 健
- 1Pb12 異なる架橋密度のポリスチレンネットワ
ークを相互侵入させたフィルムの力学特性
…(名工大院・工)○柏木敦哉, 樋口颯真, 信
川省吾, 猪股克弘
- 1Pb13 ジェランガム繊維の調製と抗菌性評価…(関
西大・化学生命工, 関西大 ORDIST)○徳永
有志, 青木優陽, 古池哲也
- 1Pb14 小角中性子/X 線散乱を用いた繊維状ポリ
アクリロニトリルゲルの構造解析…(福井大院
工)○杉山水城, 浅井華子
- 1Pb15 新規原料由来, 新製造プロセスから得られ
る革新炭素繊維の開発と力学シミュレーショ

ンを用いたその実用性評価…(岐阜大院・自然科学技術)○後藤大和, 市川将伍, 田中高並, (本田技術研究所)菅満春, (岐阜大・工)島袋出, 高橋紳矢, 武野明義, 入澤寿平

1Pb16 イオン液体/綿繊維複合熱電発電材料の開発…(静大・工)○日野航佑, 池田浩也, 濱崎拡

1Pb17 セルロースナノクリスタルの高分子結晶被覆による表面改質と複合体への応用…(岡山大院・自然)○黒田夏帆, 木村尚敬, 内田哲也

1Pb18 微結晶核延伸法による微生物産生ポリエステル繊維の多孔質化～ヘキサンをを用いた低温静置条件の影響～…(信州大・繊維)○西海土瑞樹, 牧野葉, 藤森勇輝, 田中稔久

成形・加工・紡糸

1Pb19 カイコ繭由来セリシンから構成されたタンパク質性不織布の電界紡糸…(信州大・繊維)○西原咲良, 矢澤健二郎

1Pb20 重合度が溶液紡糸ポリ塩化ビニル繊維の物性・構造に及ぼす影響…(信州大・繊維)○中嶋和奏, 中澤優人, 池田壘翔, 後藤康夫

1Pb21 ポリ塩化ビニル発泡体構造の X 線 CT による可視化と気泡形状の定量評価…(信州大・繊維)○佐藤愛子, 中村航成, 富澤鍊, 宝田亘, 金慶孝, 大越豊

1Pb22 ポリプロピレンとポリエチレンブレンドの相容化剤添加による構造制御と物性評価…(山形大院・有機)○渥美佑太, (山形大 GMAP)大槻安彦, 小林豊, (山形大院・有機)西辻祥太郎, 松野寿生, (山形大院・有機・山形大 GMAP)伊藤浩志

1Pb23 マイクロバブルによる毛髪表面改質が染料浸透性に及ぼす影響…(岐阜大院・自然科技)○岩本理沙, 彦坂愛香, 入澤寿平, 武野明義

1Pb24 石英フィラー高充填複合材料を用いた 3D 造形による透明石英ガラスの作製と物性評価…(山形大院・有機材料)○黒澤一真, (山形大 GMAP)末次義幸, 小林豊, 大槻安彦, (山形大院有機・山形大 GMAP)伊藤浩志, (東ソー)下山智隆, 長田裕也, (東ソー・クォーツ)丹野弘也, 井口采音

1Pb25 Preparation of All-Cellulose Composite using Ionic Liquid…(Kyoto Institute of Technology)○Sagor Al Mamun, Haruhiro Ino, Kazushi Yamada

1Pb26 毛髪の多孔化とその補修プロセスを利用したヘアカラー技術…(岐阜大院・自然科技)○彦坂愛香, 岩本理沙, 佐藤綾音, 入澤寿平, 武野明義

1Pb27 シンジオタクチックポリスチレン繊維の延伸糸物性と紡糸 / 延伸条件の関係…(信州大学・繊維)○一宮祥永, 富澤鍊, 宝田亘, 金慶孝, 大越豊

1Pb28 結合様式の異なる 2 種類の架橋剤を用いたアルギン酸塩繊維の作製と物性評価…(信大院・繊維)○遠藤蓮汰, 山下拓磨, 田中稔久

1Pb29 コンニャクグルコマンナン微細繊維の作製及びそれを用いた高分子複合材料の力学特性…(名工大院・工)○松尾康平, 信川省吾, 猪股克弘

1Pb30 微結晶核延伸法を用いたポリグリコール酸延伸フィルムの作製と物性評価…(信大院・総合理工)○竹内蓮太郎, 田中稔久, (クレハ)正木崇士

1Pb31 エレクトロスピンニングによるセルロース系繊維の極細化…(横国大院・環境情報)○富島雄也, (京都工繊大・繊維)八木伸一, (横国大・環境情報)高崎緑

14:40～15:40

繊維・高分子材料の創製

1Pc01 Preparation and Mechanical Properties of Poly(L-lactide) / Ethylene-vinyl Acetate Blends…(埼玉大院・理工)○Rokibul Hasan Rumon, 奈良知叡, 藤森厚裕

1Pc02 解離性動的共有結合の導入による再成形可能なコロイド結晶弾性膜の創製…(東理大院・理)○森口陽生, 岩田直人, 古海誓一

1Pc03 PIM-1/リンタングステン酸ナノコンポジットフィルムの調製と特性…(岩手大院・理工)○千葉健一, 塚本匡, 芝崎祐二

1Pc04 カシューナッツを由来とする新規バイオベースポリマーの合成と評価…(農工大・BASE)○仲野博人, 荻野賢司, 兼橋真二

- 1Pc05 側鎖置換型ポリ乳酸のマイクロ波重合に向けた検討…(京工繊大院・工芸科学)○名手陽哉, 丸林弘典
- 1Pc06 アクリル骨格を持つ環状ヘミアセタールエステルのリビング開環共重合による分解性ポリエステル合成…(信州大繊維)○土屋龍輝, (信州大先端材料研, 信州大繊維, JST さきがけ)高坂泰弘
- 1Pc07 異なる一次構造を持つ高強度化ペプチド添加剤の開発と評価…(東大院・工)○伊藤瑠華, 酒井崇匡, 土屋康佑
- 1Pc08 アシラール結合の可逆的結合交換を利用した架橋組換え可能なアクリルポリマーの創成…(信州大・繊維)○早川 純礼, (信州大先端材料研, 信州大繊維, JST さきがけ)高坂 泰弘
- 1Pc09 2-ピロン-4, 6-ジカルボン酸をモノマーとするポリエステル合成およびスペーサー構造と物性の相関…(東京科学大・物質理工)○上村 愛実, 磯辺 篤, 道信 剛志, (長岡技科大・物質生物)藤田 雅也, 上村 直史, 政井 英司, (森林総研)荒木 拓馬, 鈴木 悠造, 大塚 祐一郎, 中村 雅哉
- 1Pc10 自己集合と共有結合を用いた新規多孔質構造体の創出…(東京科学大学・物質理工)○舩田 駿斗, 磯辺 篤, 道信 剛志
- 1Pc11 ポリウレタンへのビフラン骨格の導入…(群馬大院理工 1, 群馬大食健康セ 2)○荒川 総羽 1, 成田 彩純 1, 筒場 豊和 1, 橋 熊野 1,2, 粕谷 健一 1,2

繊維・高分子材料の機能

- 1Pc12 シクロデキストリン側鎖を導入したゲル熱電材料の作製と性能評価…(農工大院・工)○篠塚俊太, 五百川創志, 下村武史
- 1Pc13 医療用多焦点眼内レンズの開発…(農工大院・先進学際科学府)○成田優佑, 荻野賢司
- 1Pc14 スプレーコート法を用いたバイポーラ膜の作製と水電解特性評価…(都立大院・都市環境)○日高優美, 奈良悠里, 川上浩良, 田中学
- 1Pc15 Push-pull Interaction Between Ions and Synthetic Polymers in All-fiber Triboelectric Nanogenerators As Power Source and

- Wireless healthcare…(Univ. Fukui)Duo Hao, Wang Haitao, Sakamoto Hiroaki
- 1Pc16 Polytetrafluoroethylene mediated contact-electro-catalysis enhanced permanganate activation: Unraveled mechanism involving singlet oxygen and manganese species…(Univ.Fukui &Tiandong university) Liu Yang, Duo Hao, Wang Jie, Sakamoto Hiroaki
- 1Pc17 シアノ基側鎖を導入したカーボネート/エーテル共重合体の合成と電解質特性…(農工大院・先進学際)○上原光, (農工大院・BASE)Kim Pa Do, (農工大・GIR)Nantapat Soontornnon, (農工大院・工)木村謙斗, (農工大院・先進学際)富永洋一
- 1Pc18 ポリマー被覆正極活物質の作製およびマグネシウム電池の充放電特性…(農工大院・BASE)○陳 霈謙, (農工大院・工)木村謙斗, (農工大・GIR)Nantapat Soontornnon, (農工大院・工・先進学際)富永洋一
- 1Pc19 マグネシウム二次電池のための正極バインダーポリマーの探索…(農工大院・先進学際)○宮澤岳樹, (農工大院・工)木村謙斗, (農工大院・GIR)Nantapat Soontornnon, (農工大院先進学際・農工大院工)富永洋一
- 1Pc20 オルガノゲルを用いた安定なダークソリトン生成…(京工繊大院・工芸)○小倉悠雅, (京工繊大・材化)木梨憲司, (京工繊大新素材)Boaz Jessie Jackin, (京工繊大)堤直人
- 1Pc21 高分子コンポジット膜のモルフォロジーとCO₂分離…(農工大院・工)○近勢真由, 海老沼亮太, 兼橋真二

テキスタイルサイエンス

- 1Pc22 小型近赤外分光器を用いた繊維混用率予測…(ニッセンケン)○舟橋みゆき, 安藤建, (日女大)吉村季織, (農工大)高柳正夫
- 1Pc23 セルロース/キチンナノクリスタルを用いたキュプラ不織布の消臭加工…(東京家政大・家政)○飯塚茜吏, 大岩睦実, 河本さら, 後藤栞, 濱田仁美
- 1Pc24 ニードルパンチ不織布の製造条件が内部構造と吸音性能に及ぼす影響…(信州大・繊維)○

酒井奎誌, 田中仁誠, 富澤鍊, 宝田亘, 金慶孝, 大越豊, (セキソー)石川明日香, 杉田誠, 山田昌也

- 1Pc25 照明光によるテキスタイルの色彩変化の傾向とその数値化…(大阪産業技術研究所)○吉村由利香, 大江猛

バイオ・メディカルマテリアル

- 1Pc26 カイコシルク重鎖を用いたハイドロゲルのタフネス向上を導く核形成と結晶化機構…(信州大院・総合理工)○西田有沙, 矢澤健二郎
- 1Pc27 多糖ナノファイバー基材を用いた歯髄幹細胞の神経分化誘導…(九大院・生資環)○花田里桜, (九大院・農)畠山真由美, (九歯大・口腔保存)折本愛, (九大院・農)北岡卓也
- 1Pc28 繊維強化と圧縮によるポリビニルアルコールハイドロゲルの高強度化…(北陸先端技術大学院大・先端技術専攻)謝思成, 松村和明
- 1Pc29 PLA/P(3HB)ブレンドナノファイバーマット上での軟骨細胞増殖・分化挙動の考察…(東京農大・院生命)○加藤亮太, 梁瀬晴人, (東京農大・生命)金井雅武, 石井大輔
- 1Pc30 紡糸のためのシルクフィブロインとカチオン化多糖の相溶性評価…(信州大・繊維)○清田朗子, 玉田靖, 橋本朋子
- 1Pc31 化学的に安定な高分子の改質 120. 医療用の高分子材料の接着性改良…((株)カナ LABO)金澤 等, (福岡教育大・家政)○稲田 文

15:40~16:40

繊維・高分子材料の創製

- 1Pd01 インジゴ骨格を主鎖に含み加工性に優れた高性能繊維に関する研究…(農工大・BASE)○川村優太郎, 柴木絢介, 荻野賢司
- 1Pd02 ピリジン、ピリダジン、ピリミジンを有するポリアリールエーテルスルホンの合成…(岩手大・理工)○川田結葵, 塚本匡, 芝崎祐二
- 1Pd03 ジアミン、トリアミンおよびテレフタルアルデヒドを用いた微細孔を有するポリアゾメチン系高分子の設計と合成…(岩手大・理工)○阿部悠璃, 塚本匡, 芝崎祐二
- 1Pd04 高分子無機多孔質複合粒子の特性と機能評

価…(大阪技術研)○吉岡弥生

- 1Pd05 各種触媒を用いたイソフタル酸、オキシジ安息香酸をコアとするベンゾオキサジンの熱硬化挙動…(岩手大・理工)○中里遥瞳, 塚本匡, 芝崎祐二
- 1Pd06 脂肪族ジアミンとスルホコハク酸によるポリアミドの合成…(岩手大・理工)○中原実結, 塚本匡, 芝崎裕二
- 1Pd07 可逆的共役置換反応を用いたビトリマー性アクリルエラストマーのワンポット合成と高速応力緩和…(信州大・繊維)○國井 寅泰, (名工大, JST さきがけ)林 幹大, (信州大先端材料研, 信州大繊維, JST さきがけ)高坂泰弘
- 1Pd08 2 種類のアクセプターから成る n 型半導体高分子の合成と電子輸送特性…(東京科学大・物質理工)○関 隆, 何 宛兒, 磯辺 篤, 道信剛志
- 1Pd09 機能性ペプチドを含有する大環状化合物の合成と機能化…(東大・工)○岡崎大輔, 土屋康佑, 酒井崇匡
- 1Pd10 芳香族ポリイミドのアミン化合物による化学分解…(農工大院・工)○鷹取樹, 天野敬太, 兼橋真二

繊維・高分子材料の機能

- 1Pd11 鎖式および分岐ポリグリンドール高分子電解質膜の合成と特性…(岩手大院・理工)○佐藤来夢, 塚本匡, 芝崎祐二
- 1Pd12 ヨウ素系深共晶溶媒を使ったイオン熱化学電池の開発…(農工大院・工)○関口竣介, 藤谷薫, 下村武史
- 1Pd13 ポリ(3, 4-エチレンジオキシチオフェン):スルホン化リグニンの作製と電気物性評価…(農工大院・工)○大郷敦也, 下村武史
- 1Pd14 ポリブチレンサクシネート系ブレンドの凝集構造と酵素分解挙動…(山形大院・有機)○川田周平, (RITE)清水 哲, 平賀和三, 乾 将行, (三菱ケミカル)楠野篤志, 野口 浩, (山形大院・有機)西辻祥太郎, (山形大院・有機/山形大・GMAP)伊藤浩志, (山形大院・有機)松野寿生
- 1Pd15 高分子と低分子の相互作用 51. ポリエチレン

とポリ塩化ビニルの違い…((株)カナ LABO)

○金澤 等, (福岡教育大・家政)稲田 文

1Pd16 リチウム電解液のイオン伝導度に及ぼすリ
グニンモデル化合物の添加効果…(農工大
院・先進学際)○大川悠, (農工大院・農)峯
岸光, 松下泰幸, (農工大・GIR)Nantapat
Soontornnon, (農工大院・工)木村謙斗, (農
工大院・工, 先進学際)富永洋一

1Pd17 固体高分子電解質型リチウムイオン二次電
池の黒鉛電極内部構造が及ぼす抵抗への影響
評価…(農工大院・先進学際)○大泉友花,
(農工大院・工)木村謙斗, (農工大・GIR)
Nantapat Soontornnon, (農工大院・先進学
際・工)富永洋一

1Pd18 イオン飛跡グラフト重合法によるイオン交
換膜の作製および膜特性評価…(山口大院・
創成科学)○村崎心菜, 田中美輝, (山口大
院・創成科学, 山口大 BEST)垣花百合子,
比嘉充, (QST・高崎研)澤田真一, 越川 博,
八巻徹也

1Pd19 PEDOT 誘導体薄膜のクリック反応による
金属イオン認識能の付与…(東京科学大・物
質理工)○村山聡彦, 磯辺 篤, 道信剛志

1Pd20 非相溶界面の機械的接着における接着界面
の凝集状態と接着強度の関係…(福井大・工)
○島田海星, (福井大院・工)勝又幹仁, (福
井大院・工)平田豊章, 久田研次

1Pd21 γ オリザノールを用いた新規液晶材料の開
発…(農工大・BASE)○鈴江智佳, 荻野賢
司, (築野オレオケミカルズ)山本弥

テキスタイルサイエンス

1Pd22 鞆に複合したポリビニルブチラル成分の
熱融着が混織した不織布の強度に及ぼす効果
…(信州大・繊維)○鈴木汰周, 富澤鍊, 金慶
孝, 大越豊

1Pd23 ボタン閉鎖操作性とボタン・ホールの左右
身頃の関係—若年者のきき手を中心として—
…(信州大教育)○福田典子

1Pd24 体幹部における冷覚閾値, 二点弁別閾値及
びくすぐったさに関する研究…(文化学園大
院・生活環境学)○YANG RUIJIA, (文化学
園大・服装)松井有子, (文化学園大院・生活

環境学)佐藤真理子

バイオ・メディカルマテリアル

1Pd26 細胞性食品を指向したシルクフィブロイン
基盤スキャフォールドの開発…(農工大院・
工)○越智春樹, 佐藤美優, 秋岡翔太, 中澤
靖元

1Pd27 Fabrication of Electrospun GelMA/PEO
Porous Hydrogel Nanofiber…(福井大院・工)
○Ke YANG, 橋本直哉, 藤田 聡, 宮島浩樹

1Pd28 アニオン交換した光電変換色素をセルロー
スナノファイバーに結合させた人工網膜の耐
久性評価…(岡山大院・自然)○藺田幸佑,
SHEIKH MD CHANMIYA, 木村尚敬, 内田
哲也

1Pd29 シルクフィブロインの炎症応答性解析…(農
工大院・工)○齋藤優真, 秋岡翔太, 中澤靖
元

1Pd30 遺伝子改変繊維状ウイルスによるアミロイ
ド β ペプチドの凝集阻害能の評価…(科学
大・物質理工)○高橋悠夏, 芹澤武, 澤田敏
樹

6月12日(木)

11:00~12:00

染色・機能加工・洗浄

2Pa01 西洋ワサビペルオキシダーゼを用いたヘアカ
ラー染料の脱色反応の速度論的解析: pH 及
び活性化剤の影響…(宮崎大・教育)○藤本明
弘, 小坂真穂, (東京学芸大・教育)森田みゆ
き

2Pa02 アニオン性染料廃液からの染料吸着剤用途に
向けた高カチオン化セルロースの架橋処理に
よる膨潤最適化…(信大院・織)○西堀凜華,
(信州大・繊維)平田雄一

天然繊維・生体高分子

2Pa03 側鎖不飽和基を有する微生物産生ポリエステ
ルの熱架橋特性と生分解性評価…(東大院・
農)○小倉紫花, 立岩丈武, 加部泰三, 岩田
忠久, (科学大・物質)宮原佑宜, 柘植丈治

2Pa04 ポリエチレンサクシネートによる生分解性繊
維の高強度化と分解性評価…(東大院・農)○

- 石田慶, 加部泰三, 岩田忠久, (理研 CSRS)
熊谷澄人, 竹中康将, 阿部英喜
- 2Pa05 スチレンスルホン酸ナトリウム修飾を施した
セルロースナノファイバーの構造解析…(山
形大院・有機)○小林央歩, 松葉豪,
(NIMS・高分子)吉川千晶
- 2Pa06 生分解性脂肪族ポリエステル海洋生分解性
における曝露環境依存性…(群大院・理工)○
野口萌, (群大・食健セ)鈴木美和, (NITE)
坪井隼, 紙野圭, (島大・生物)吉田真明,
(JAMSTEC)石井俊一, 鹿島裕之, 野牧秀隆,
(京大院・工)沼田圭司, (群大院・理工)橘熊
野, 粕谷健一
- 2Pa07 コンニャクグルコマンナンシートを複合化し
たバイオマス複合材料の力学特性…(名工大
院・工)○長野峻也, 信川省吾, 猪股克弘
- 2Pa08 コットンおよびウール生地表面に対する紫外
線の影響…(京工繊大院・工芸)○算用子大和,
井野晴洋, 山田和志
- 2Pa09 *R. eutropha* を用いたブロック共重合体
P(3HB-b-3HBV)の生成における各ブロッ
ク分子量の培養時間依存性…(龍谷大・先端
理工)○矢下廉, 中沖隆彦
- 2Pa10 カルボキシメチルセルロース/ポリエチレン
イミン/没食子酸からなる重金属吸着材の開
発…(岩手大院・理工)○佐々木結菜, 塚本匡,
芝崎祐二
- 2Pa11 同時糖化粉碎リグニンを用いた新規共重合体
の合成…(農工大院・先進学際)○平塚健太
郎, (農工大院・BASE)行貞春香, (農工大・
GIR)Nantapat Soontornnon, (農工大院・
工)木村謙斗, (産総研)敷中一洋, (森林総研)
大塚祐一郎, (農工大院・工・先進学際)富永
洋一
- 2Pa12 廃棄バイオマスからのフラン類の生産…(群
大・理工)○白石清美, (群大院・理工・食健
セ)橘熊野, (群大院・理工・食健セ)粕谷健
一
- 2Pa13 キトサンをバインダーとした TOCN コーテ
ィング PET フィルムの調製…(関西大・化学
生命工)○石田匠, 和泉香穂, (関西大・化学
生命工, 関西大 ORDIST)古池哲也
- 2Pa14 イオン液体で膨潤した綿繊維の微細構造解析

と物性評価…(共立女子大・家政)○吉田愛里,
安藤美沙子, 村瀬浩貴, (東洋紡・総研)船城
健一

- 2Pa15 2-ピロン-4, 6-ジカルボン酸含有ロタキサンの
合成と生分解性プラスチックへの応用
…(東京科学大・物質理工)○木村 涼葉, 磯辺
篤, 相良 剛光, (長岡技科大・物質生物)藤田
雅也, (森林総研)荒木 拓馬, 鈴木 悠造, 大
塚 祐一郎, (長岡技科大・物質生物)上村 直
史, 政井 英司, (森林総研)中村 雅哉, (東京
科学大・物質理工)道信 剛志
- 2Pa16 糖質分子力場の改良と性能評価…(宮崎大
院・工)○小野田一成, (宮崎大・工)井澤浩
則, 宇都卓也
- 2Pa17 *R. eutropha* による Poly(3-hydroxybutyrate-
co-3-hydroxyvalerate)(P3HBV)の共重合組成
の変化と代謝経路による検討…(龍大院・先
端理工)○恒川愛乃, 中沖隆彦
- 2Pa18 天然漆を模倣したバイオマス由来の人工漆合
成…(農工大院・工)○位寄晴香, (明治大)宮
腰哲雄, (農工大院・工)兼橋真二

ソフトマテリアル

- 2Pa19 両親水性ブロック共重合体濃厚水溶液の感温
性ミクロ相分離…(大分大院・工)○緒方雪菜,
江口康弘, (大分大・理工)檜垣勇次
- 2Pa20 エチルセルロース誘導体からなるリオトロピ
ック・コレステリック液晶の反射色の温度依
存性…(東理大院・理)○岸和加子, 岩田直人,
古海誓一
- 2Pa21 加硫天然ゴムの平面伸長によって形成された
結晶が昇温過程において融解する挙動の研究
…(京工繊大院)○岡本匠永, 丈達優希, 今井
一希, (高エネ研)高木秀彰, 五十嵐教之,
((株)ブリヂストン)北村祐二, 角田克彦, (京
大院工)浦山健治, (京工繊大)櫻井伸一
- 2Pa22 海洋環境におけるポリ(ϵ -カプロラクトン)/
ハイパーブランチポリマーブレンドの分解挙
動…(山形大院・有機)○河本 遼, (CERI)田
口浩然, 菊地貴子, (愛媛大院・理工)日向博
文, (山形大院・有機)西辻祥太郎, (山形大
院・有機, 山形大・GMAP)伊藤浩志, (山形
大院・有機)松野寿生

- 2Pa23 制御ラジカル重合による反射色を示す温度応答性ポラスゲル膜の創製…(東理大院・理)○江上風史, 岩田直人, 古海誓一
- 2Pa24 再構成ゲルの作製条件の検討と構造解析…(農工大院・工)○岩永莉奈, 森長佳穂, 斎藤恵梨香, 赤木友紀
- 2Pa25 Enhancing Mechanical Properties of Homogeneous Elastomer by Tuning Molecular Friction…(東大生産研)○Qiyue Cui, 中川慎太郎, 吉江尚子
- 2Pa26 PEG-PAMAMゲルの物理特性と接着力…(農工大院・工)○佐々木悠貴, 陽田樹, 大石智貴, 三谷太朗, 赤木友紀
- 2Pa27 新規カゴ型シロキサン含有巨大分子の調整と構造評価…(阪工大院・工)○日下真一, (阪工大・工)中村吉伸, 藤井秀司, 平井智康
- 2Pa28 生体適合性高分子を用いた未架橋鎖を持つゲルの合成と物性評価…(名大院工)○小澤菜々穂, 長谷川夕果, (北大院先端生命)Li Xiang, (東北大 SRIS)星野大樹, (名大院工)竹岡敬和
- 2Pa29 クエン酸と二糖を用いたフィッシュゼラチンゲルの作製…(信州大院・総合理工)○荒谷伶音, 田中稔久
- 2Pa30 表層の3アミノ酸を自在改変可能な遺伝子改変ファージの構築と特性評価…(科学大・物質理工)○小沢悠太, 芹澤武, 澤田敏樹
- 2Pa31 非晶性を用いた両親媒性高分子液晶の構築と液晶形成挙動…(大分大院・理工)○甲斐悠季乃, (大分大院・理工)宮脇香乃子, (大分大・理工)氏家誠司
- 2Pa32 高い弾性回復と自己修復を特徴とするポリマーグラフトナノ粒子フィルム…(東京科学大学・物質理工)○加藤新也, 渡邊悠介, 黒川成貴, 戸木田雅利

13:00~14:00

染色・機能加工・洗浄

- 2Pb01 カチオン化度の異なるカチオン化綿糸と綿糸を用いた三子糸平編地の後染めによる色の濃淡表現…(信大院・織)○日下舜仁, (信州大・繊維)平田雄一

天然繊維・生体高分子

- 2Pb02 クモシルクの張力依存的な振動特性…(信州大院・総合理工)○田中義将, 矢澤健二郎
- 2Pb03 イオン液体を用いた綿リサイクル技術の開発に向けた検討…(信州大・繊維)○辻菜津子, 後藤康夫
- 2Pb04 セルロース濾紙の官能基化と OAA1 レクチンの固定化…(岩手大学院・理工)○宮城亜衣, 塚本匡, 芝崎祐二, (株式会社 The IT Lab)田口好弘
- 2Pb05 生分解性を示すポリアミド iNylon の光分解挙動…(鹿児島大学大学院理工学研究科)○米村まいな, 加藤太一郎, 横山理沙, 横川由起子, (北陸先端科学技術大学院大学)谷池俊明, (九州大学ネガティブエミッションテクノロジー研究センター)Yingjun An, 高原淳, (大日精化工業株式会社)小島正幸, 嶋中博之, (江南大学)金子達雄, (兵庫県立大学大学院工学研究科)根来誠司
- 2Pb06 酵素触媒重合によるセロオリゴ糖グラフト化ポリ(γ -グルタミン酸)の合成…(鹿児島大院・理工)○徳永みみ, (三和澱粉工業(株))高垣太緒, (鹿児島大院・理工)戸谷匡康, 門川淳一
- 2Pb07 生分解性脂肪族および脂肪族芳香族ポリエステル分解能力を有する海洋細菌由来 MFKK-1 株の特徴づけ…(群大院・理工)○河村莉奈, Phouvilay Soulethone, (群大・食健セ)鈴木美和, (群大院・理工)古郡万椰, 齋藤泰司郎, Paul Olusegun Bankole, 橘熊野, 粕谷健一
- 2Pb08 カルダノール結合アシル化キチン誘導体の合成…(鹿児島大院・理工)○河野竜也, 戸谷匡康, 門川淳一
- 2Pb09 機械解繊セルロースナノファイバー分散液のレオ・オプティクス挙動…(アントンパール・ジャパン, 東大院・工)○新井田萌重, (アントンパール・ジャパン)山縣義文, (フォトニククラティス)佐藤大祐, (東大院・工)片島拓弥
- 2Pb10 湿潤した紙における乾燥条件の違いによる機械的性質および繊維状態変化…(愛工大・工)○太田英伸, 大内陽太, 亀井優之介

- 2Pb11 有機低分子化合物の添加による生分解性ポリエステルの海洋生分解性分解の向上…(群大院・理工)○下平昂大, (群大院・食セ)鈴木美和, (群大院・理工)太田美乃里, 権田昂平, (海洋機構)石井俊一, 鹿島裕之, (群大院・理工)橘熊 野, 武野宏之, 粕谷健一
- 2Pb12 グルコン酸由来高分子量 P(3HB)の生合成および物性評価…(東京農大院・生命)○CHEAH JIA YI, (東京農大・生命)金井雅武, 石井大輔
- 2Pb13 エポキシ化タンニン酸とシスタミンからなる自己修復性材料の開発…(岩手大院・理工)○工藤舞子, 塚本匠, 芝崎佑二
- 2Pb14 各種糖アルコールを炭素源とした P(3HB)の微生物合成…(東京農大院・生命)○辻ノ内陸, 金井雅武, 石井大輔
- 2Pb15 食品混合塗料を塗布した紙の撥水性と生分解性…(マクセル(株))○後藤敏晴, 横山優香, 谷口聖太, 松本修明, (滋賀大)加納圭
- 2Pb16 分子シミュレーションと機械学習の連携によるセルロース溶解挙動の計算化学研究…(宮崎大院・工)○大木場慧, (ダイセル)兼子祐, (宮崎大・工)宇都卓也
- 2Pb17 フェノール性植物油を原料とした熱硬化性エポキシ樹脂の合成…(農工大院・工)○引網泰斗, 古川海翔, 兼橋真二
- 2Pb18 フェノール性植物油の酸化開裂反応を利用したバイオモノマーの合成…(農工大院・工)○小川達也, (農工大院・BASE)矢形健人, 荻野賢司, 兼橋真二

ソフトマテリアル

- 2Pb19 双極子配向の異なる両ホスホコリン系ブロック共重合体水溶液のマイクロ相分離…(大分大院・工)○松井勇樹, 江口康弘, (大分大・理工)檜垣勇次
- 2Pb20 フェニルボロン酸の酸解離平衡に誘導される環境応答性マイクロ相分離二相系…(大分大院・工)○小野恵吾, 立山実結花, (大分大・理工)檜垣勇次
- 2Pb21 片面固定した柔軟材料の Dispersion Method による力学物性評価…(東京科学大・物質理工)○平林渉, 赤坂修一, 浅井茂雄

- 2Pb22 N-ビニルアセトアミドとエチルアクリレートによる新規高伸縮性ハイドロゲルの構造解析…(山形大院・有機)○加藤 壘, 石田岳, (奈良先端大院工)千田こころ, 吉田裕安材, 網代広治, (山形大院・有機)松葉豪
- 2Pb23 マンノースをコアとする星形ポリ乳酸の合成とステレオコンプレックス化によるマイクロ粒子の調製…(岩手大院・理工)○川村 綾音, 塚本 匡, 芝崎 祐二
- 2Pb24 小角 X 線散乱によるポリウレタン系液晶エラストマーの一軸延伸にともなうナノ構造の変化…(京工織大院)○杉野由芽, (TOYO TIRE(株))野田知花, (高エネ研)高木秀彰, (京工織大)櫻井伸一
- 2Pb25 両末端にビニル基を導入したポリペプチド鎖を架橋点とするエラストマーの調製と力学特性…(名工大院・工)○川地晋平, 信川省吾, 猪股克弘
- 2Pb26 キラル分子を含有する新規カゴ型シルセスキオキサンの調製と分子凝集構造評価…(阪工大院・工)○三好康正, (阪工大・工)中村吉伸, 藤井秀司, 平井智康
- 2Pb27 液晶ブロック共重合体二相ラメラの弾性率比と伸長変形によるキンク形成…(科学大・物質理工)○小関晴人, 小黒聖明, 黒川成貴, 戸木田雅利
- 2Pb28 生体軟組織と類似した力学特性を有する相互侵入網目ゲルの開発…(名大院・工)○鏡味湧哉, 竹岡敬和
- 2Pb29 ブロック共重合体のマイクロ相分離構造を利用したキラルシリカの配列制御…(阪工大院・工)○篠田永遠, (阪工大・工)中村吉伸, 藤井秀司, 平井智康
- 2Pb30 イオン液晶システムの熱的性質および配向挙動に対する対イオンの効果～高分子対イオンの液晶形成への影響～…(大分大院・理工)○薬真寺紀佳, (大分大院・工)宮脇香乃子, (大分大・理工)氏家誠司
- 2Pb31 繊維状ウイルスと金ナノ粒子からなる複合膜の構築と気体分離特性の評価…(科学大・物質理工)○重成 翼, Huang Yu-Ju, (九大院・工)今村和史, 星野友, (科学大・物質理工)澤田敏樹

会場別進行表			A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	P会場(ポスター発表)			
			5F 小ホール	4F 研修室	4F 401会議室	3F 303会議室	2F 福寿	2F 蓬莱	1F 展示ホール1・2			
6月11日 (水)	10:00-10:20	1	セッション3 繊維・高分子 材料の物理 〔1A01-1A06〕	セッション8 ソフトマテリアル 〔1B01-1B06〕		セッション9 バイオ・ メディカル マテリアル〔1D01- 1D05IL〕	セッション7 天然繊維・ 生体高分子 〔1E01-1E06〕		1Pa, 1Pb貼付	1	10:00-10:20	
	10:20-10:40	2								2	10:20-10:40	
	10:40-11:00	3								3	10:40-11:00	
	11:00-11:20	4							1Pa01-1Pa31 オブリゲーションタイム (セッション3,4)	4	11:00-11:20	
	11:20-11:40	5								5	11:20-11:40	
	11:40-12:00	6								6	11:40-12:00	
	12:00-12:40									12:00-12:40		
	12:40-13:00								12:40-13:00			
	13:00-13:20	7	繊維・高分子 材料の物理 〔1A07-1A12〕	ソフトマテリアル 〔1B07IL- 1B12〕	セッション5 染色・機能加工・ 洗浄 〔1C07-1C11〕	バイオ・ メディカル マテリアル 〔1D07-1D10〕	天然繊維・ 生体高分子 〔1E07- 1E11IL〕		1Pb01-1Pb31 オブリゲーションタイム (セッション3,4)	7	13:00-13:20	
	13:20-13:40	8								8	13:20-13:40	
	13:40-14:00	9							1Pa, 1Pb撤去	9	13:40-14:00	
	14:00-14:20	10							1Pc, 1Pd貼付	10	14:00-14:20	
	14:20-14:40	11								11	14:20-14:40	
	14:40-15:00	12							1Pc01-1Pc31 オブリゲーションタイム (セッション1.2.6.9)	12	14:40-15:00	
	15:00-15:20	13							13	15:00-15:20		
	15:20-15:40	14	繊維・高分子 材料の物理 〔1A14-1A18〕	ソフトマテリアル 〔1B14IL- 1B18〕	染色・機能加工 ・洗浄 〔1C14-1C18〕		天然繊維・ 生体高分子 〔1E14-1E18〕		1Pd01-1Pd30 オブリゲーションタイム (セッション1.2.6.9)	14	15:20-15:40	
	15:40-16:00	15								15	15:40-16:00	
	16:00-16:20	16								16	16:00-16:20	
	16:20-16:40	17								17	16:20-16:40	
	16:40-17:00	18							1Pc, 1Pd撤去	18	16:40-17:00	
	17:20-18:20								特別講演 A会場			
	18:30-20:30		懇親会 桃源							18:30-20:30		
6月12日 (木)	9:40-10:00	1	繊維・高分子 材料の物理 〔2A01-2A07〕	セッション1 繊維・高分子 材料の創製 〔2B01-2B07〕	染色・機能加工 ・洗浄 〔2C01IL- 2C04〕	セッション2 繊維・高分子 材料の機能 〔2D01-2D06〕		天然繊維・ 生体高分子 〔2F01- 2F03IL〕		1	9:40-10:00	
	10:00-10:20	2							2Pa, 2Pb貼付	2	10:00-10:20	
	10:20-10:40	3								3	10:20-10:40	
	10:40-11:00	4								4	10:40-11:00	
	11:00-11:20	5							2Pa01-2Pa32 オブリゲーションタイム (セッション5.7.8)	5	11:00-11:20	
	11:20-11:40	6								6	11:20-11:40	
	11:40-12:00	7								7	11:40-12:00	
	12:00-13:00									12:00-13:00		
	13:00-13:20		繊維・高分子 材料の物理 〔2A09-2A15〕	繊維・高分子 材料の創製 〔2B08- 2B12IL〕	セッション6 テキスタイル サイエンス 〔2C08IL- 2C13〕	繊維・高分子 材料の機能 〔2D08IL- 2D13〕		天然繊維・ 生体高分子 〔2F11-2F14〕	2Pb01-2Pb31 オブリゲーションタイム (セッション5.7.8)		13:00-13:20	
	13:20-13:40	8								8	13:20-13:40	
	13:40-14:00	9								9	13:40-14:00	
	14:00-14:20	10							2Pa, 2Pb撤去	10	14:00-14:20	
	14:20-14:40	11								11	14:20-14:40	
	14:40-15:00	12								12	14:40-15:00	
	15:00-15:20	13								13	15:00-15:20	
	15:20-15:40	14								14	15:20-15:40	
	16:00-16:30		功績賞・学会賞・技術賞・論文賞・奨励賞 授与式 A会場							16:00-16:30		
	16:30-17:00		学会賞 受賞講演 A会場							16:30-17:00		
	17:00-17:30		技術賞 受賞講演 A会場							17:00-17:30		
	18:00-19:30		ポスター発表表彰式・若手研究交流会 F会場							18:20-19:50		
	6月13日 (金)	9:40-10:00	1	繊維・高分子 材料の物理 〔3A01-3A07〕	繊維・高分子 材料の創製 〔3B03-3B07〕	テキスタイル サイエンス 〔3C01-3C07〕	セッション4 成形・加工 ・紡糸 〔3D02IL- 3D06〕				1	9:40-10:00
		10:00-10:20	2								2	10:00-10:20
10:20-10:40		3								3	10:20-10:40	
10:40-11:00		4								4	10:40-11:00	
11:00-11:20		5								5	11:00-11:20	
11:20-11:40		6								6	11:20-11:40	
11:40-12:00		7								7	11:40-12:00	
12:00-13:00										12:00-13:00		
13:00-13:20		8	繊維・高分子 材料の物理 〔3A08-3A10〕		テキスタイル サイエンス 〔3C08-3C10〕					8	13:00-13:20	
13:20-13:40		9								9	13:20-13:40	
13:40-14:00		10								10	13:40-14:00	
14:00-14:20		11								11	14:00-14:20	
15:00-			総会		臨時理事会						15:00-	

論文募集のお知らせ: ISF2024 特集号

Journal of Fiber Science and Technology (JFST) では、ISF2024 に関する論文の特集を行います。この特集では、繊維科学および技術における最新の進展や革新的な研究を収集し、広く共有することを目的としています。著者の皆様にとって、研究成果をより幅広い学術コミュニティと共有し、本分野における議論をさらに深める絶好の機会となります。



さらに、本特集に採択された論文の掲載料については **50%の補助** が適用されます。

- **特集号テーマ:** 「ISF2024 における繊維科学および技術」
- **対象論文:** 原著論文、総説論文、技術論文等

投稿:

- **投稿期間:** 2025 年 2 月 1 日 ~ 2025 年 5 月 31 日
※締切前に投稿された論文は順次査読され、採択され次第、公開されます。
- **投稿方法:** 下記のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.fiber.or.jp/jpn/publication/contribution.html>
- **使用言語:** 英語

皆様の積極的なご投稿をお待ちしております！

学生会員(新規・継続)の皆様へ 2025 年度学生会員費全額補助のお知らせ

繊維学会は、2020 年度に小島盛男様(元 JNC 株式会社)からいただいたご寄付を財源として、将来を担う若手繊維研究者の発掘・育成と学会の活性化を図る「令和 10 年プロジェクト」を発足させ、3つのプログラムを策定しました。

プログラムの1つ「若手会員増強プログラム」の一環として、2025 年度(2025 年 4 月～2026 年 3 月)に繊維学会に在籍する学生会員の年会費(3,600 円)の全額補助を継続することいたしましたのでお知らせいたします。

是非、この機会に繊維学会へご入会いただき、年次大会、秋季研究発表会などで日頃の研究成果を発表いただければ幸いです。学生の皆様のご入会をお待ちしております。

学生会員には下記 4 つの特典があります。是非、ご活用ください。

1. J-stage にて、「繊維学会誌」(1944 年第 1 巻第 1 号～最新号)がオンラインで閲覧できます。

閲覧には、ご入会の際にお知らせいたします購読者 ID とパスワードが必要です。

2. 学会が主催・共催する大会、講座、セミナーなどに学生会員価格でご参加いただけます。

ex)年次大会参加費(事前)：学生会員 4,000 円(不課税)、非会員学生 7,700 円(税込)

3. 年次大会、秋季研究発表会等でのご発表が表彰対象になります。

表彰の詳細については、各行事のご案内をご確認ください。

4. 学会刊行の論文誌 Journal of Fiber Science and Technology (JFST)にご投稿いただけます。

JFST はインパクトファクターが付いたオープンアクセス論文誌です。

和文論文も掲載いたします。

問い合わせ先：一般社団法人 繊維学会 事務局

電話：03-3441-5627

E-mail：office@fiber.or.jp

[小島基金]リカレント教育支援制度について

小島盛男様からのご寄付を貴重な財源として、“令和10年プロジェクト”を推進しています。プロジェクトの一環として、リカレント教育支援制度を設けており、博士号取得を目的として大学院に在学中の、企業もしくは公設試験研究機関に所属する研究者の方を対象に、下記の通り奨学金を給付します。

記

支援対象：下記のすべてを満たす方のうち、若干名

- ①繊維学会の正会員であること
- ②企業もしくは公設試験研究機関に所属していること
- ③博士号取得を目的として大学院に在学中であること
- ④研究内容(研究の目的、および、繊維分野との関係や波及効果等を必ず記載すること)
- ⑤繊維学会での発表実績、および、これまでの論文投稿実績(繊維学会に限らない)
- ⑥奨学金を必要とする理由

支援方法：奨学金として40万円を支給し(1人1回限り)、JFSTへの投稿を3年間無料とします。

選考方法：繊維学会運営委員会にて、研究内容が繊維学会の対象分野に合致するか否か等を審議し、採否を決定します。

応募方法：2025年6月30日(月)までに、①対象者氏名、②所属企業もしくは機関名、③博士号取得予定の大学院名、④指導教員、⑤研究内容(A4・1枚程度)を、応募先までメールにて連絡ください。

被支援者の義務：被支援者は、以下の義務を履行する必要があります。

- ①繊維学会主催行事への参加(種類や回数は問わない)
- ②研究成果のJFSTへの投稿(1報以上)

その他：採用が決定し奨学金をお支払いする前に、在学証明書を提出いただきます。また、特別の事情がない限り、採用者の氏名を学会誌に掲載いたします。奨学金は原則、個人名義の銀行口座への振込とします。

応募連絡先：繊維学会事務局(office@fiber.or.jp)

令和 7 年度化学系学協会東北大会

主 催：日本化学会東北支部

共 催：高分子学会東北支部、日本分析化学会東北支部、化学工学会東北支部、有機合成化学協会東北支部、電気化学会東北支部、日本材料学会東北支部、繊維学会東北北海道支部、無機マテリアル学会北部支部、分子科学会東北地区、日本セラミックス協会東北北海道支部、日本接着学会東北・北海道支部、高等学校文化連盟全国自然科学専門部、山形大学(いずれも予定)

会 期：2025 年 9 月 6 日(土)~7 日(日)

会 場：対面開催：山形大学米沢キャンパス(〒992-8510 山形県米沢市城南 4-3-16)

[アクセス]<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#yone>

交 通：

1. JR 米沢駅から市街地循環バス右回り「山大正門」下車 約 15 分
2. JR 米沢駅からタクシー 約 10 分
3. JR 南米沢駅より徒歩 約 5 分

※駐車スペースが限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

講 演：

1. 一般講演：ポスター発表
 2. 特別講演：日本化学会東北支部の推薦によるテーマで 3 件
 3. 招待講演：各学協会からの推薦による現在脚光を浴びているテーマ
 4. 依頼講演：各学協会からの推薦による研究者講演
 5. 特別企画：化学教育研究協議会東北大会、有機化学コロキウム、物理化学コロキウム、高分子コロキウム、他
- ※口頭発表は講演者持参のコンピュータによりプロジェクトを利用

発 表 申 込 締 切：7 月 31 日(木)

発 表 予 稿 原 稿 締 切：7 月 31 日(木) ※高校生のみ 8 月 25 日(月)

事前参加登録申込締切：8 月 15 日(金)

発 表 申 込 方 法：日本化学会東北支部ホームページ(<https://tohoku.chemistry.or.jp/>)にて案内
(4 月上旬頃公開予定)

参加登録費：[事前登録]一般：4,000 円、教育会員・大学院生：2,000 円

小・中・高教員、高校生、高専生、学部生：無料(いずれも予稿集代を含む)

[当日登録]一般：5,000 円、教育会員・大学院生：3,000 円

小・中・高教員、高校生、高専生、学部生：無料(いずれも予稿集代を含む)

懇 親 会 9 月 6 日(土)18 時より、会場未定

会 費：事前登録：一般 8,000 円、学生 5,000 円

当日登録：一般 9,000 円、学生 6,000 円

事前参加登録申込方法：日本化学会東北支部ホームページ(<https://tohoku.chemistry.or.jp/>)にて案内
(4 月上旬頃公開予定)

問合せ：〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学理学部化学科内

公益社団法人 日本化学会東北支部事務局(担当：千葉依巳 熊谷沙緒理)

TEL・FAX：(022)224-3883 E-mail：nikka.tohoku@chemistry.or.jp:

HP：<https://tohoku.chemistry.or.jp/>

変更などの詳細は、日本化学会東北支部ホームページ(<https://tohoku.chemistry.or.jp/>)にてご確認ください。

第 62 回化学関連支部合同九州大会

主催・共催：日本分析化学会九州支部ほか 7 化学関連支部

会 期：2025 年 7 月 5 日(土) 9 時～17 時(予定)

会 場：北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30) [交通]JR 小倉駅より徒歩 5 分

発表形式：一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演(8 件、各支部推薦)

発表申込方法：大会 HP(<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)から、指示に従って、以下の申込必要事項をお送りください。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は、本合同大会事務局(日本分析化学会九州支部)(godo62sec@gmail.com)にお問い合わせください。

申込必要事項：1)発表分野、2)発表題目、3)発表者所属機関の略称、4)発表者氏名(登壇者の前に✓印)、5)学生の場合は、研究室名、指導教員の氏名と E-mail アドレスも記入、6)発表者の所属学協会(申込中を含む、複数可)、7)発表者の学年・職

なお、発表分野は下記のいずれかをご指定ください。

(1)物理化学、(2)分析化学、(3)無機化学、(4)電気化学、(5)有機化学、
(6)高分子・繊維化学、(7)生物化学・農芸化学、(8)化学工学

予稿原稿(約 800 字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会 HP
(<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)で公開します。執筆要項に従って作成し、
PDF ファイルに変換したものを大会 HP に記載の方法で投稿してください。

注：大学院進学などでメールアドレスが変更となった場合は、大会 HP マイメニューより、必ずご変更ください。

参加費・発表登録費：聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表

1 件につき 3,000 円(予稿集 1 冊含む。大会 HP でクレジットにて、お支払いください)。聴講
のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求めください(1 冊：1,500 円)。

授賞式：各支部によるポスター賞審査終了後、各支部毎に開催します。なお、懇親会の開催予定はありません。

問合先：〒819-0395 福岡市西区元岡 744

第 62 回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局

(実行委員長：井倉則之(九州大学)、代表世話人：椿俊太郎(九州大学))

E-mail：godo62sec@gmail.com TEL：096-802-4805

依頼講演会[順不同]：

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

馬渡 和真(早稲田大学)「マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析場のサイズ極限の探求」

依頼講演 高分子学会九州支部推薦

國武 雅司(熊本大学)「ソフトマター材料化学：マイクロエマルションからシリコンポリマーまで」

依頼講演 繊維学会西部支部推薦

盛満 裕真(九州大学)「固体上におけるポリスチレン吸着鎖の熱運動の実空間観察」

依頼講演 化学工学会九州支部推薦

中川 究也(九州大学)「多相拡散モデルによる多孔性ガラスマトリクスへの吸湿ダイナミクスの推算」

依頼講演 電気化学会九州支部推薦

三嶋 祐(株式会社トクヤマつくば研究所)「㈱トクヤマにおける AEM 水電解用電解質材料の開発」

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦

薬師寺 文華(長崎大学)「ヒストンメチル化を操る新規化学プローブの創製と機能解析」

依頼講演 日本化学会九州支部推薦

平松 光太郎(九州大学)「高速分光法の開発と生命科学応用」

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦

平川 英樹(九州大学)「植物のゲノム配列の解読とその応用に向けた研究」

大妻女子大学
家政学部被服学科 専任教員公募

研究分野：被服・繊維製品等の素材・材料領域
職 名：教授、准教授または専任講師
採用人数：1名
採用予定日：令和8年4月1日
応募締切日：令和7年6月2日(月)必着
詳 細：<https://www.otsuma.jp/recruit>

第92回紙パルプ研究発表会

主 催：紙パルプ技術協会
日 時：2025年6月24日(火)～25日(水)
会 場：東京大学弥生講堂 一条ホール
プログラム：詳細はHP(<https://www.japantappi.org/>)をご参照ください。
申込方法：上記HPよりお申込みください。
問合せ先：紙パルプ技術協会
TEL：03-3248-4841
問合せフォーム
(<https://form.run/@japantappi-InquiryForm>)

界面コロイドラーニング
第41回現代コロイド・界面化学基礎講座

主 催：日本化学会コロイドおよび界面化学部会
日 時：2025年7月3日(木)～4日(金)
会 場：同志社大学東京オフィス
プログラム：詳細はHP(<https://colloid.csj.jp/202502/learning-41st-tokyo/>)をご参照ください。
申込方法：上記HPよりお申込みください。
問合せ先：第41回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局
E-mail：jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp

第39回日本キチン・キトサン学会大会

主 催：日本キチン・キトサン学会
日 時：2025年9月9日(火)～10日(水)
会 場：東北学院大学五橋キャンパス
プログラム：詳細はHP(<https://new.express.adobe.com/webpage/P9dIeoavDOM0y>)をご参照ください。
申込方法：上記HPよりお申込みください。
問合せ先：加藤 陽子
(第39回日本キチン・キトサン学会大会運営委員長)
TEL：022-354-8731
E-mail：2025jscc@ml.tohoku-gakuin.ac.jp

第74回ネットワークポリマー講演討論会

主 催：合成樹脂工業協会
日 時：2025年10月15日(水)～17日(金)
会 場：KDDI 維新ホール
プログラム：詳細はHP(<https://www.jtpia.jp/>)をご参照ください。
申込方法：上記HPよりお申込みください。
問合せ先：合成樹脂工業協会
ネットワークポリマー講演討論会事務局
E-mail：atsushi.otaki@jtpia.jp
TEL：03-5298-8003
FAX：03-5298-8004

第73回レオロジー討論会

主 催：日本レオロジー学会
日 時：2025年10月14日(火)～16日(木)
会 場：アオーレ長岡
プログラム：詳細はHP(<https://www.srj.or.jp/gyoji>)をご参照ください。
申込方法：上記HPよりお申込みください。
問合せ先：一般社団法人 日本レオロジー学会
E-mail：office@srj.or.jp
TEL：075-315-8687

「第2回 国際超臨界CO₂染色加工シンポジウム」開催のご案内

2025年5月23日(金)～25日(日)に、「2nd International Symposium on Supercritical CO₂ Dyeing & Finishing」が中国・青島にて開催されます。

本シンポジウムは、超臨界流体を用いた染色加工に関する国際会議であり、世界最先端の研究結果が紹介されるほか、研究者間の活発な情報交換が行われる貴重な機会です。

ぜひ、ふるってご参加いただければ幸いです。

なお、青島空港から会場までの送迎サービスが主催者により用意されています。

詳細につきましては、追ってご案内いたしますので、ご参加を予定されている方は、下記までご一報いただけますと幸いです。

お問い合わせ先：

超臨界流体研究委員会 委員長
大阪成蹊短期大学 澤田 和也
E-mail：sawada-k@osaka-seikei.ac.jp